

令和4年度版

戸田市立市民医療センター 年報

第 48 号

令和5年8月 作成

ま え が き

令和4年度の実績に基づく戸田市立市民医療センター年報(第48号)を刊行いたします。

待ちに待った認知症の新薬が間もなく発売される…そんな期待が膨らみます。令和5年1月23日岸田首相の施政方針演説でもアルツハイマー病の新薬に対して、「日本発、世界初のイノベーションが、国境を越えて、認知症の方とご家族に希望の光をもたらすことは、大変うれしいことです」と述べています。認知症の治療薬は今まではドネペジルのような「症候改善薬」のみでしたが、今回登場するのはメカニズムに働きかけて病理や病態を改善する「疾患修飾薬」です。いよいよ認知症治療の新時代の到来です。

一方でこの治療の恩恵を受けるにはいくつかの大きなハードルがあります。まずアルツハイマー病を正確に診断できるアミロイドPETが日本には50台にも満たない。アルツハイマー病患者全員に実施するには10年以上かかると試算されます。値段も高額で現状では保険がききません。その他の検査にも様々な課題が残ります。そこをうまく通り抜けていざ治療を受けるとなってもまだまだ大きな問題があります。効果の問題です。2年間病院に通って月1回の点滴を受け続けて、進行が約7.5か月遅くなる程度。さらに新薬の価格がいくらになるかは未定ですが、アメリカではかなり高額な設定となっています。しかも認知症のごく初期、ほとんど症状のない時期に治療を開始しないと意味がない。ほとんど症状がない時期に高額な医療費をかけるのはかなり抵抗が大きいと感じます。

認知症の新薬開発は本当に難しいと感じます。今回の新薬の発売は大きな課題を残したままという印象ですが、一方で診断技術の進歩や今後手軽に血液で診断できる技術開発の促進、および今後の新薬開発においてはそれなりの貢献をしそうだとは感じます。さらに今まで開発された例えばある種の睡眠薬が認知症に有効の可能性が示唆されたり、ドラッグリポジショニングも注目されています。私は神経内科医となり認知症診療にかかわるようになって約40年、自分自身の問題として認知症が身近に感じられる年齢となってきましたが、はたして我々の世代はこれら新薬の恩恵にあずかることができるのでしょうか…。

さて令和4年度を振り返ると、新型コロナウイルス感染症(以下COVID-19)流行も早3年目を迎え、第6波の終わりから第7波を経て第8波を経験しました。当センターでは、前年度に引き続き、①発熱外来の対応、②ワクチン接種事業、③後遺症への対応、④増加するフレイルや認知症の予防、の4つの事業を行いました。

発熱外来では、PCR検査や抗原定性検査の実施件数は令和4年度は2,657件で、過去3年間で最も多くなりました(令和2年度995件、令和3年度1,701件)。また内服治療薬(ラゲブリオやゾコーバ)を用いたCOVID-19感染者に対する外来加療も多数実施され、COVID-19患者の重症化予防に一定の効果を上げたと考えます。

ワクチン接種事業に関しては、令和4年度は成人用1価(起源株)が2,954回、成人用2価(起源株/オミクロンBA1)が136回、成人用2価(起源株/オミクロンBA4-5)が2,732回、小児(5~11Y児)用1価(起源株)が439回、乳児(5M~4Y児)用1価(起源株)が86回で合計6,347回実施しました。これは前年度の13,132回には及ばなかったものの、5種類

のワクチンを適切に打ち分けることで効果向上に寄与できたと考えます。

さらに COVID-19 患者の後遺症に対しては令和 4 年度は 52 名(112 回)の後遺症外来を実施しました。後遺症外来を実施して感じたことは、多くの後遺症は比較的速やかに症状は落ち着きますが、一部の患者で症状が遷延化すること、遷延化は 30 代から 50 代の女性に多く、症状としては全身倦怠感や易疲労感、Brain fog などの症状が多い傾向にありました。根気強く少しでも有効な薬(漢方薬を含む)を探すことと、傾聴と共感などの心理的サポートおよびリハビリを継続していくことの重要性を痛感しています。

COVID-19 への対応は今年 5 月 8 日より感染症法上 2 類相当の扱いから 5 類感染症としての扱いに見直され、様々な規制が大幅に緩和されました。一方で現在第 9 波の到来が指摘され、当センター発熱外来においても陽性率がじわじわと上昇しています。今後も引き続き気を引き締めて対応していく必要性を感じています。

また令和 4 年度は、継続運営していく中で、定期的に見直しが必要な 2 つの事業の更新の年にあたりました。1 つは平成 30 年度より指定管理者制度を導入した戸田市立介護老人保健施設の 5 年ごとの更新で、「健秀会」が継続して指定管理先に決定しました。

さらに令和 5 年度を始期とする新たな経営改革プランとして「経営ビジョン」を策定し、当センターが公的医療機関として求められる医療、高齢者支援の機能及び果たすべき役割を明らかにしました。この適用期間は 10 年間、経営指標、取組目標は 3 年間とし、3 年周期で目標値の精査を今後毎年度行っていきます。

その他、「民間医療機関との包括連携協定」を結び医療・福祉・地域連携に取り組みました。今後これを継続・拡充させ、さらに令和 5 年度は当センターにおいてもアウトリーチと DX を取り入れたオンライン診療を開始しました。

さらに、令和 5 年度は、100 年健康プロジェクト「誰も取り残されない医療・福祉・地域連携」の取り組みとして、近くに医療機関がない、医療機関までの交通手段がないなどの理由により、後期高齢者健診を受けることができない方を対象に、身近な町会会館などにおいて実施する集団健診「グリーン健診」を実施予定です。これにより健診受診率を向上させ、市民の健康維持・増進に少しでも寄与できればと考えます。

さらに現在、諸事情により休止中の 19 床入院部門を再開すべく準備を進めています。

課題は様々ありますが、その中でより良い市民医療センターにするため職員一同心を一つにして全力で取り組んでまいりますので、今後とも、皆様の一層のご指導・ご鞭撻、またご理解・ご協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

令和 5 年 8 月

戸田市立市民医療センター
所長 飯島 昌一

目 次

I	施設の概要	
	◎ 戸田市立市民医療センター	1
II	事業概要	
	1 地域医療体制推進事業	3
	2 診療事業	
	(1) 診療事業の体系	5
	(2) 医事業務	6
	(3) 診療業務	6
	(4) 看護業務	7
	(5) 薬剤業務	7
	(6) 臨床検査業務	8
	(7) X線検査業務	9
	(8) 訪問看護ステーション	10
	(9) 地域包括支援センター	10
III	統計資料	
	1 地域医療体制推進事業	
	(1) 救急医療の利用状況	11
	2 診療事業	
	(1) 診療施設利用状況	12
	(2) X線検査実施状況	13
	(3) 臨床検査実施状況	14
	(4) 薬局業務実施状況	15
	(5) 上部消化管内視鏡検査実施状況	16
	(6) 栄養指導件数	16
	(7) リハビリテーション実施状況	17
	(8) 入院施設(19床)利用状況	19
	(9) 地域連携窓口相談件数	21
	(10) 救急搬送受入状況	22
	(11) 評価指標	23
	(12) 新型コロナウイルスに関する取り組み	25
	3 訪問看護ステーション事業	27
	4 地域包括支援センター事業	31
IV	研究	
	1 令和4年度外来アンケート結果について	33
	2 オンライン診療の実証実験と社会的処方について	39

3 .	自宅で最期まで過ごすことを希望された筋萎縮性側索硬化症（ALS） の利用者を支援して学んだこと	41
付録	戸田市介護老人保健施設	43

I 施設の概要

I 施設の概要

◎戸田市立市民医療センター

1 役割

市内唯一の公的医療機関として、地域住民のニーズの高い医療を提供し、市民の健康を守る役割を担っている。

2 機能

診療・入院機能及び機能回復訓練室を合わせ持った総合医療施設である。

3 施設の沿革

昭和 20. 10. 1	美笹診療所の開設
昭和 32. 7. 20	戸田町と美笹村合併、戸田町となる
昭和 34. 8. 1	戸田町母子健康センターの開設（助産施設含む）
昭和 41. 10. 1	市制施行
昭和 46. 10. 1	戸田市立健康管理センター設立（有床診療所として） （母子健康センター・診療所の統合、保健指導部門の新設）
昭和 53. 3. 20	戸田市立健康管理センターの増設
昭和 60. 3. 31	助産部門の廃止
昭和 60. 12. 19	助産施設を機能回復訓練室に改造
昭和 61. 7. 1	戸田市立心身障害者福祉センター内に機能回復訓練室開設
平成 5. 5. 1	訪問看護ステーション設置
平成 7. 5. 1	有床診療所9床から19床へ増設（老人保健施設内に設置）
平成 9. 5. 6	19床入院患者受け入れ開始
平成 10. 3. 31	戸田市立心身障害者福祉センター内の機能回復訓練室閉鎖
平成 11. 4. 1	土曜午前の診療開始及び診療科目の増設（循環器科・神経内科） 戸田市立健康管理センター機構改革実施
平成 12. 4. 1	毎週土曜日の診療実施・整形外科開設（金）・小児科午後の診療日の増加
平成 13. 4. 1	名称変更により戸田市立医療保健センターとなる。行政組織改正実施
平成 17. 4. 1	土曜全日の診療開始
平成 18. 4. 1	早朝急患診療の開始
平成 23. 4. 1	健康推進室の福祉部移管及び移転により、戸田市立市民医療センターに名称変更 早朝急患診療の終了及び午後の診療時間の延長開始。予防接種実施日の拡大
平成 24. 4. 1	禁煙外来の開始 救急診療所指定
平成 24. 10. 10	新診療棟着工
平成 26. 1. 17	新診療棟竣工
平成 26. 4. 1	新診療棟での診療開始
平成 26. 6. 9	耳鼻咽喉科開設
平成 30. 4. 1	認知症初期集中支援推進事業開始 介護老人保健施設指定管理制度導入
令和 2. 4	新型コロナウイルス感染症対策開始 発熱外来等
令和 4. 3	コロナアフターケア外来・起立性調節障害・小児頭痛外来 開設

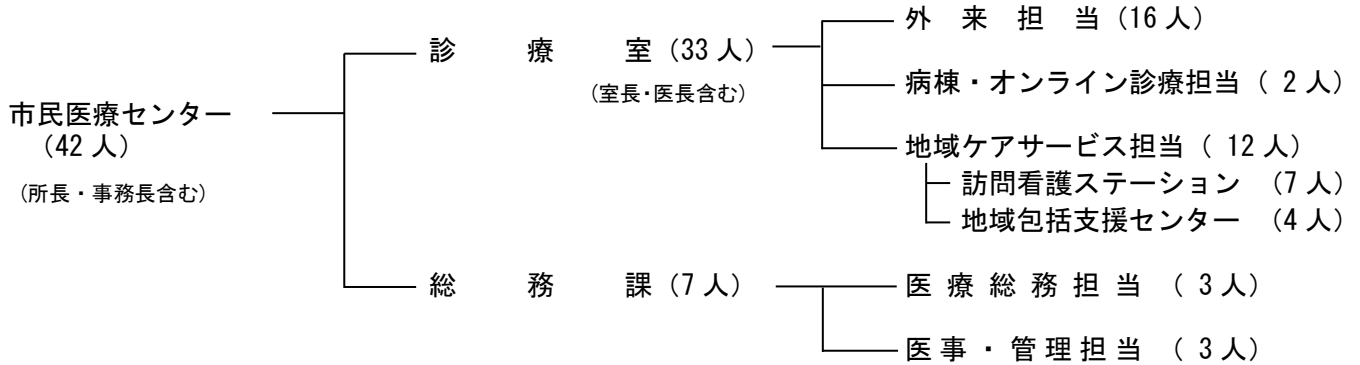
4 建物の規模

構 造	鉄筋コンクリート造3階建
建築面積	1,221.39㎡
建築延面積	2,319.65㎡
敷地面積	3,326.36㎡

5 組織及び職員の体制

(令和5年4月1日現在)

(1) 組織



(2) 職種及び職員数

職 名	職 員 数	職 名	職 員 数
医 師	4	理 学 療 法 士	3
薬 剤 師	3	作 業 療 法 士	1
臨 床 検 査 技 師	1	保 健 師	1
放 射 線 技 師	2	事 務 職 員	11
看 (准) 護 師	16	合 計	42

令和5年4月1日現在

Ⅱ 事業概要

II 事業概要

1. 地域医療体制推進事業

医療機関が実施している第一次及び第二次救急医療事業にかかる費用を補助すること、外国人の未払い医療費（救急医療）を補助することで、市民が救急医療を適切に受けられることができるよう、救急医療体制を推進する。

ア 第一次(初期)救急医療体制整備事業

- ・ 休日・平日夜間急患診療所が、休日及び平日夜間に外来診療を実施することにかかる費用の一部、及び蕨・戸田市内の産婦人科医療機関が、休日に外来診療を実施することにかかる費用の一部を、蕨市と1/2ずつ補助する。
- ・ 小児の一次救急医療充実のため、夜間における小児の第一次救急医療を実施する医療機関に、その運営費用の一部を補助する。

イ 第二次救急医療体制整備事業

- ・ 休日及び夜間に病院が輪番で、入院治療を必要とする重症救急患者に対応することにかかる費用の一部を蕨市と1/2ずつ補助する。

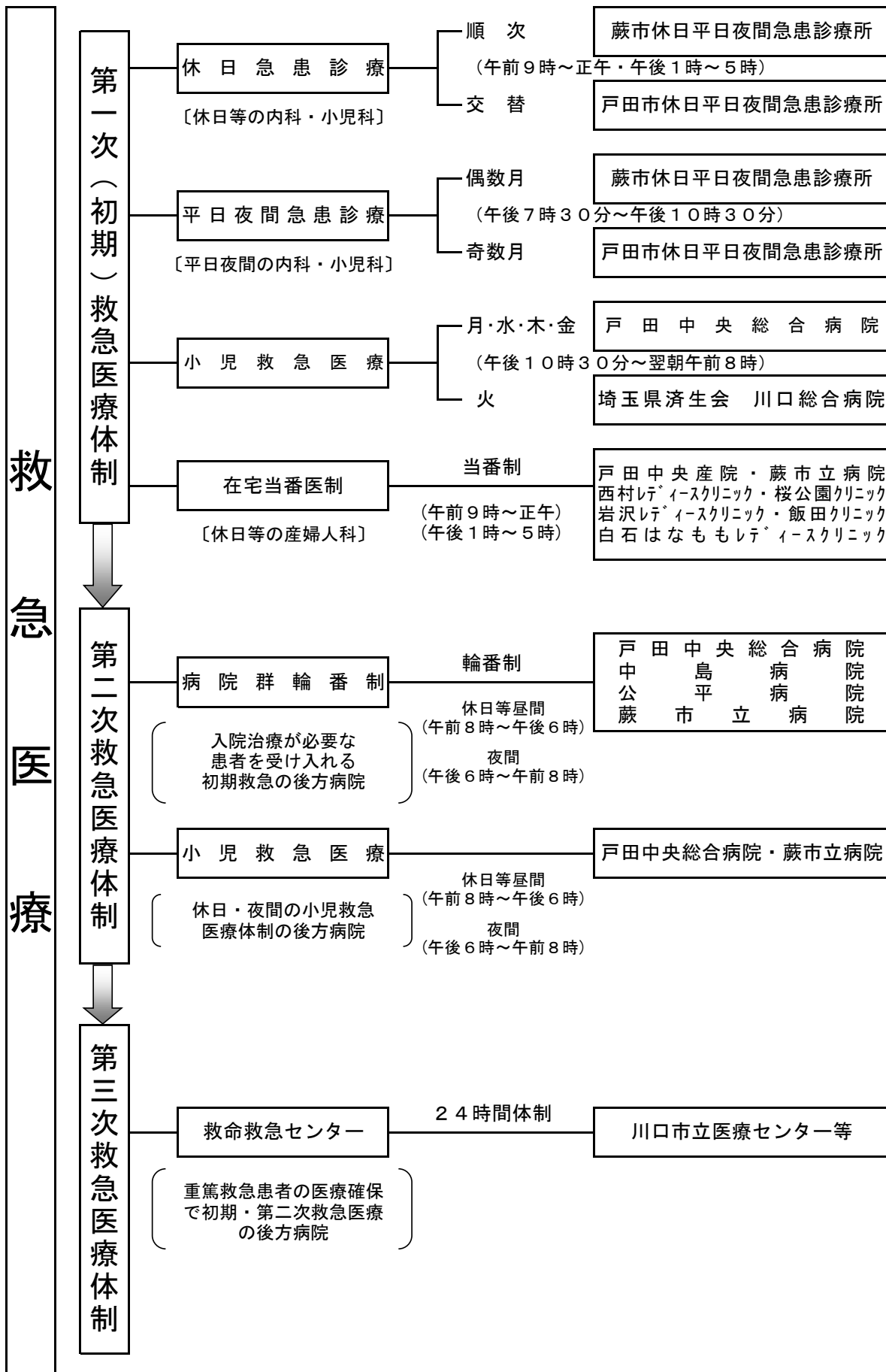
ウ 地域医療体制強化事業

- ・ 小児の一次救急医療充実のため、夜間における小児の第一次救急医療を実施する医療機関にその運営費・医療施設・設備の整備の一部を補助する。

エ 外国人未払医療費対策事業

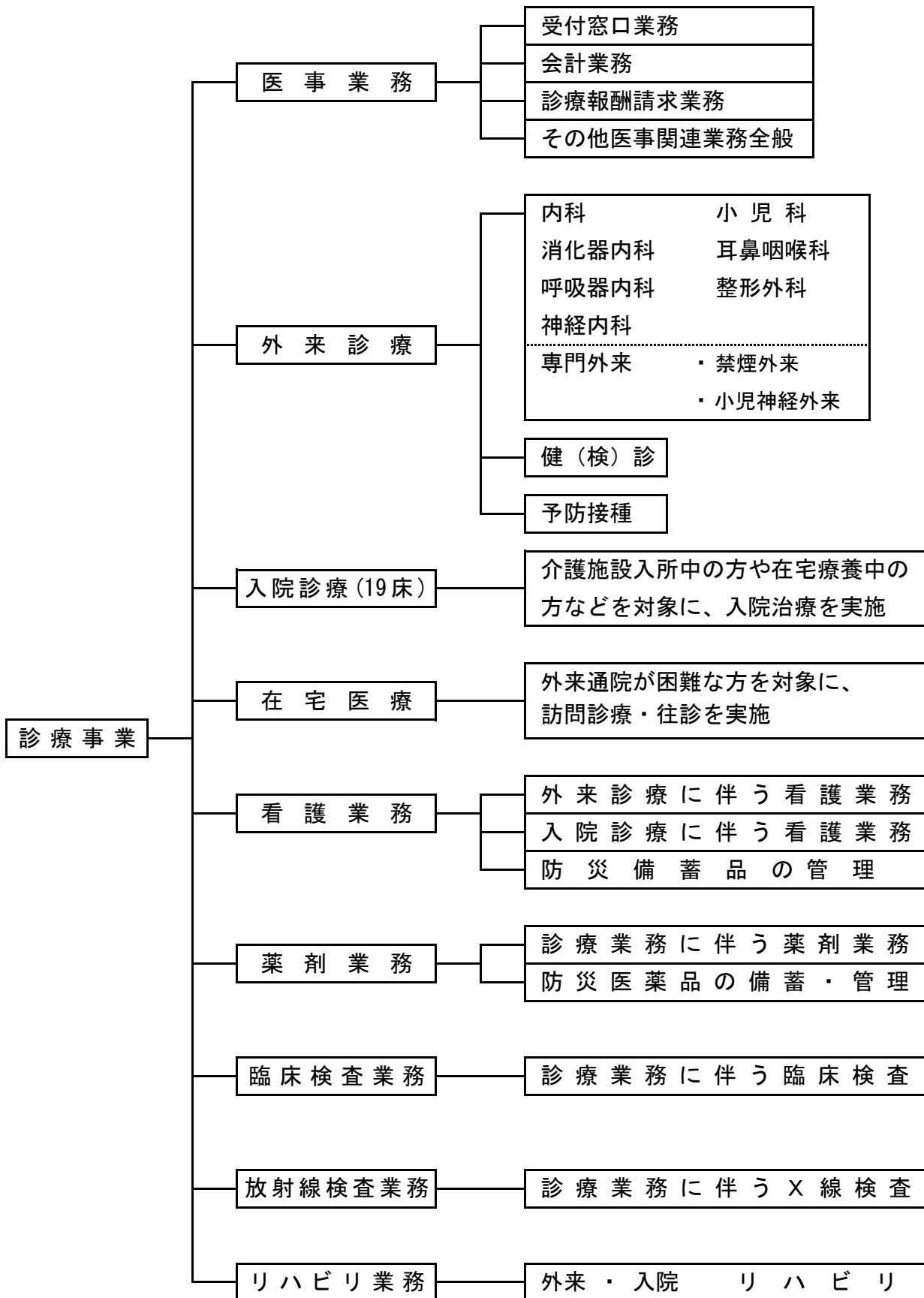
- ・ 外国人が救急医療を利用し、医療機関に医療費が未払いとなった場合に、未払いの医療費の一部を、埼玉県と1/2ずつ負担する。

救急医療事業



2. 診療事業

(1) 診療事業の体系



(注) 令和4年度の事業体系

(2) 医事業務

一般外来診療、入院診療、各種健康診断、予防接種等の受付及び一部負担金の徴収並びに診療報酬の請求業務

(3) 診療業務

当センターの診療業務は一般外来診療、入院診療、各種健康診断、予防接種、往診、リハビリテーション等を実施している。令和4年度の診療施設利用者総数は28,461人で令和3年度の30,066人と比較し、1,605人の減少となっている。

① 一般外来診療

内科、小児科、消化器内科、呼吸器内科、神経内科、整形外科、耳鼻咽喉科の合計7科で外来診療をおこなっている。

② 入院診療（19床）

介護老人保健施設、介護老人福祉施設等の入所者、また在宅療養中の方々等が、病状悪化のために入院治療が必要なときに収容し、その病状の改善を図る。

③ 各種健康診断

- ・ 戸田市国保人間ドック
- ・ 30歳代等健診
- ・ 特定健診
- ・ 結核、肺がん検診
- ・ 胃がん検診
- ・ 大腸がん検診
- ・ 事業所委託定期健診
- ・ 個人健診（入園、入学、就職等）
- ・ 外来乳児健診（定期健診以外のもの）

④ 予防接種

予防接種法に基づく予防接種、その他の予防接種を実施している。

⑤ 在宅医療

寝たきり等で外来受診できない高齢者の方を対象に往診を実施している。

⑥ リハビリテーション

外来患者や入院患者を対象に月曜日～金曜日の午前に医師の指示にもとづいて、理学療法・作業療法、必要に応じて言語療法を実施している。

(4) 看護業務

- ① 外来及び訪問診療の診療介助・処置
- ② 各種健（検）診の計測、視力検査、聴力検査、採血及び結果票等の文書処理
- ③ 予防接種、内視鏡検査、その他検査等の介助
- ④ 病棟看護業務
- ⑤ 地域医療連携業務

(5) 薬剤業務

当センターの薬剤業務は診療事業（外来、入院）の薬剤業務全般、防災用医薬品の備蓄及び管理などを実施している。

① 診療事業に関する業務

外来・入院等の処方箋調剤、医薬品情報の提供と管理、服薬指導、使用医薬品の在庫管理及び購入などの出納事務、注射薬の払い出し、処方箋の保存と管理、ワクチンの管理と払い出し、薬事委員会における新規採用および使用中止医薬品等の検討

② 防災に関する業務

災害発生に備えて防災用医薬品の備蓄及び循環運用等の在庫管理

[最近5年間の処方箋数の推移]

(枚)

区 分		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
市民 医療 セン ター	内 科	12,815	12,389	8,980	8,815	8,333
	小 児 科	10,611	8,628	3,657	4,670	6,479
	整形外科	437	570	337	339	342
	耳鼻咽喉科	94	183	166	145	167
	入 院	1,086	1,316	1,005	776	1
合 計		27,196	23,086	14,145	14,745	15,322

[最近5年間の旧指標ジェネリック医薬品使用割合の推移]

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
先発医薬品数量	862,233	809,763	613,684	715,440	640,953
ジェネリック医薬品数量	1,567,865	1,712,407	1,527,565	1,520,460	1,460,178
総医薬品数量	2,430,098	2,522,170	2,141,249	2,235,900	2,101,131
ジェネリック医薬品使用割合(%)	64.5%	67.9%	71.3%	68.0%	69.5%

医薬品数量は規格単位数量で算出

旧指標ジェネリック医薬品使用割合＝ジェネリック医薬品数量/総医薬品数量

[最近5年間の新指標ジェネリック医薬品使用割合の推移]

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
ジェネリック医薬品数量	1,567,865	1,712,407	1,527,565	1,520,460	1,460,178
先発医薬品(ジェネリックあり)	546,010	461,722	345,453	351,416	339,526
先発医薬品(ジェネリックなし)	316,223	348,040	268,222	364,030	301,478
新指標ジェネリック医薬品使用割合%	74.2%	78.8%	81.6%	81.2%	81.1%

新指標ジェネリック医薬品使用割合=【ジェネリック数量】/【ジェネリック数量+先発医薬品数量(ジェネリックあり)】

(6) 臨床検査業務

当センターの診療事業の各種臨床検査を実施している。

令和4年度の診療事業臨床検査件数は、65,013件(令和3年度67,473件)で、前年度と比べ2,460件の減であった。

【診療事業】

内科、小児科、消化器内科、入院等の診療業務及び各種健康診断に伴う臨床検査を実施している。

[検査内容]

検体検査・・・尿、便、血液、生化学、免疫、細菌、病理、細胞診検査等

生理学的検査・・・心電図、脳波、超音波、肺機能、眼底検査等

[検査設備]

多項目自動血球計数装置、生化学自動分析装置(ドライケム)

心電計、脳波計、超音波診断装置、自動呼吸機能測定器、眼底カメラ等

[最近5年間の臨床検査件数の推移]

(件)

	区 分	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
診療事業	内 科	73,190	73,544	57,222	56,593	56,118
	小 児 科	5,412	4,842	4,334	5,185	8,872
	消 化 器 科	24	28	15	29	23
	入 院	6,907	8,022	6,533	5,666	0
	計	85,533	86,436	68,104	67,473	65,013

消化器科は病理検査件数のみ。

整形外科と平成26年度からの耳鼻咽喉科の検査件数は、内科・小児科に含まれる。

平成30年度より介護老人保健施設は指定管理者制度となった。

令和4年4月中旬より入院一時停止。

(7) X線検査業務

当センターのX線検査業務は、診療事業（委託業務を含む）および健診（検診）にともなう各種X線検査を診療放射線技師2名で実施している。

令和4年度のX線総検査数は、3,094件（令和3年度は3,251件）で、前年度と比べ157件の減であった。

① 一般外来

内科、小児科、整形外科、耳鼻咽喉科等の診療業務にともなうX線検査を実施している。

[検査内容]

一般単純撮影 全身CT撮影

② 健診（検診）事業

健診・検診事業のX線検査を実施している。

[検査内容]

結核・肺がん検診・・・胸部直接撮影

胃がん検診・・・上部消化管造影

国保ドック・・・胸部直接撮影、上部消化管造影

健康診断・・・胸部直接撮影

③ 検査設備

全身用CT装置、デジタルX線TV装置、一般撮影装置、FPD装置、CR装置
PACS、骨塩定量測定装置

[令和4年度 装置別検査件数]

一般撮影	2,084
骨塩定量	109
C T	734
X線TV	167
合計	3,094

[最近5年間のX線検査件数の推移]

各科別	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
内科	2,984	2,973	2,138	1,769	1,477
小児科	87	115	74	95	165
整形外科	229	382	196	178	182
耳鼻咽喉科	4	11	9	6	4
検診(健診)胸部	1,397	1,608	1,282	1,086	1,099
検診(健診)胃部	241	190	198	117	167
合計	4,942	5,279	3,897	3,251	3,094

(8) 訪問看護ステーション

訪問看護ステーションでは、病気や障害を持った人が住み慣れた地域やご家庭で、安心して療養生活を送れるよう看護師等が訪問し看護ケアを提供している。

また、生活の質が向上できるよう医療・福祉・介護関係機関と連携をとり、状況に応じてさまざまな在宅ケアサービスの相談、助言を行っている。

(9) 地域包括支援センター

地域包括支援センターは、戸田市の美女木地区・笹目地区を担当圏域とし、高齢者が住み慣れた地域でその人らしい生活が続けられるように、介護、福祉、保健、医療など様々な面から「高齢者総合相談窓口」として支援している。

また、基幹型地域包括支援センターとして、市内地域包括支援センターの後方支援の役割を担い、関係者間の連携を進めている。

保健師、社会福祉士、主任介護支援専門員、認知症地域支援推進員等の専門職が連携して相談対応を行っている。

Ⅲ 統計資料

III 統計資料

1. 地域医療体制推進事業

(1) 救急医療の利用状況

ア. 休日・平日夜間急患診療所

(人)

	戸田診療所		蕨診療所		合計		患者数(住所地別)				
	診療日数	患者数	診療日数	患者数	診療日数	患者数	戸田市	蕨市	川口市	さいたま市	その他
休日急患診療	41日	937	30日	489	71日	1,426	875	346	101	65	39
平日夜間急患診療	121日	219	124日	224	245日	443	249	139	21	25	9

イ. 在宅当番医制

(人)

診療日数 合計	患者数 合計	患者数(住所地別)				
		戸田市	蕨市	川口市	さいたま市	その他
71日	204	94	37	34	23	16

ウ. 病院群輪番制病院利用状況

(人)

診療日数		救急患者数								患者の来院方法					
夜間	休日等	内科	小児科	外科	脳外科	整形外科	耳鼻科	眼科	産婦人科	合計	初期救急からの転送		その他		
											救急車	その他	救急車	その他	
365日	72日														
437日		1,365	317	304	132	187	32	0	107	2,444	0	0	1,218	1,226	

エ. 病院群輪番制住所地別利用状況

(人)

患者数(住所地別)				
	戸田市	蕨市	その他	計
内科	537	299	529	1,365
小児科	203	77	37	317
外科	126	57	121	304
その他	144	92	222	458
合計	1,010	525	909	2,444

オ. 小児救急支援事業利用状況

(人)

診療日数		輪番別救急患者数						患者の来院方法			
夜間	休日等	戸田中央総合病院		蕨市立病院		合計		初期救急からの転送		その他	
		入院	外来	入院	外来	入院	外来	救急車	その他	救急車	その他
243日	194日	27	335	3	523	30	858	0	0	236	652
437日		362		526		888		0		888	

2. 診療事業

(1) 診療施設利用状況

ア. 診療施設総利用状況

(人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用状況	1,938	1,817	2,006	2,272	2,324	2,357	2,692	3,476	2,627	2,209	2,238	2,505	28,461

イ. 内科 (注釈) 実施していない月のある項目は「-」と記載しています。

(人)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
外来	午前	776	747	858	783	877	838	867	819	848	831	745	966	9,955
	午後	312	230	208	239	274	232	232	234	311	232	231	291	3,026
	(小計)	1,088	977	1,066	1,022	1,151	1,070	1,099	1,053	1,159	1,063	976	1,257	12,981
健診検査	委託	1	0	7	7	18	3	19	11	2	7	5	13	93
	個人健診	0	2	2	3	2	7	2	3	3	6	5	3	38
	30歳代等健診	0	0	0	4	3	9	2	1	0	1	4	0	24
	国保ドック	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	特定健診	0	0	5	38	44	47	93	56	34	44	52	0	413
	後期高齢者基本健診	0	0	4	35	52	54	56	48	22	23	20	0	314
	特定健診(社保)	0	0	0	3	7	7	6	10	12	3	3	7	58
	特定保健指導(社保)	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	2
	肝炎ウイルス検診	0	0	1	1	0	1	1	1	0	0	1	0	6
	がん検診	0	0	8	124	183	176	216	160	131	112	161	0	1,271
	風しん・肝炎検査	0	0	0	0	0	0	1	3	0	4	0	12	20
	(小計)	1	2	27	215	309	304	396	293	206	200	251	35	2,239
その他	訪問診療・往診	42	5	6	7	5	7	5	6	26	3	5	8	125
	予防接種	11	9	7	48	8	28	136	1,106	153	29	15	40	1,590
	福祉の杜	110	77	118	121	119	109	129	109	114	119	83	145	1,353
	(小計)	163	91	131	176	132	144	270	1,221	293	151	103	193	3,068
入院	14	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	14	
合計	1,266	1,070	1,224	1,413	1,592	1,518	1,765	2,567	1,658	1,414	1,330	1,485	18,302	

(注釈1) 外来は、週6回診療実施

(注釈2) 国保ドックは、予約制(木曜日のみ)

ウ. 小児科

(人)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
外来	午前	275	293	317	383	300	365	403	379	402	314	366	385	4,182
	午後	223	288	261	327	267	302	344	282	327	305	366	377	3,669
	(小計)	498	581	578	710	567	667	747	661	729	619	732	762	7,851
予防接種		110	98	111	87	96	102	114	189	158	94	102	132	1,393
その他	外来乳児健診	0	0	1	1	1	3	0	0	1	1	0	0	8
	個人健診	2	0	2	1	3	1	1	0	3	0	1	2	16
	委託	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	3
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	(小計)	2	0	3	2	4	4	1	0	4	1	1	5	27
合計	610	679	692	799	667	773	862	850	891	714	835	899	9,271	

(注釈1) 外来は、週6回診療実施

(注釈2) 予防接種は、毎週月曜日・水曜日・金曜日・土曜日の午後実施

(人)

専門外来(小児)		合計
上記合計欄の再掲件数	小児神経内科	243
	起立性調節障害	228
	小児頭痛	212

エ. 整形外科

(人)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
外来	午前・午後	39	42	50	38	51	39	39	45	44	40	46	51	524

(注釈) 水曜日午後のみ診療実施

オ. 耳鼻咽喉科

(人)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
外来	午前	23	26	40	22	14	27	26	14	34	41	27	70	364

(注釈) 木曜日午前のみ診療実施

(2) X線検査実施状況

X線検査件数

(人)

科	部 位	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	
内 科	一 般 撮 影	39	41	65	64	61	62	56	51	43	66	53	77	678	
	骨 塩 定 量 測 定	5	1	7	20	8	8	5	10	8	7	5	13	97	
	CT	40	47	44	53	72	59	66	59	63	67	54	78	702	
	(小 計)	84	89	116	137	141	129	127	120	114	140	112	168	1,477	
小 児 科	一 般 撮 影	4	9	14	11	15	18	10	10	11	9	5	21	137	
	CT	2	2	1	5	4	1	3	1	1	3	1	4	28	
	(小 計)	6	11	15	16	19	19	13	11	12	12	6	25	165	
整 形 外 科	一 般 撮 影	12	10	18	14	15	11	13	9	12	22	18	16	170	
	骨 塩 定 量 測 定	2	1	1	0	1	0	0	2	1	1	2	1	12	
	CT	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	(小 計)	14	11	19	14	16	11	13	11	13	23	20	17	182	
耳 鼻 咽 喉 科	一 般 撮 影	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	CT	0	0	1	0	0	1	0	1	0	1	0	0	4	
	(小 計)	0	0	1	0	0	1	0	1	0	1	0	0	4	
検 診 (健 診)	胸 部	肺 が ん 検 診	0	0	8	72	85	92	118	79	58	61	78	0	651
		国 保 ド ッ ク	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		そ の 他	10	161	72	37	20	7	21	16	5	40	33	26	448
	胃	胃 が ん 検 診	0	0	0	16	21	23	18	16	31	15	27	0	167
		国 保 ド ッ ク	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	そ の 他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	(小 計)	10	161	80	125	126	122	157	111	94	116	138	26	1,266	
合 計		114	272	231	292	302	282	310	254	233	292	276	236	3,094	

(3) 臨床検査実施状況

臨床検査実施件数

(人)

科	分類	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
内科外来	尿・糞便	94	314	125	289	356	314	464	331	247	266	307	131	3,238
	血液	681	833	1,023	1,029	1,122	996	1,119	851	800	1,000	1,054	1,082	11,590
	生化学	1,794	3,946	2,780	3,409	3,741	3,394	3,769	2,877	2,309	3,012	3,187	3,029	37,247
	免疫	117	211	166	120	184	174	152	143	131	139	184	247	1,968
	細菌・ウイルス	45	20	21	66	109	78	60	44	107	108	96	61	815
	細胞診	1	1	0	7	5	10	12	1	11	8	8	1	65
	心電図	33	179	54	52	82	68	87	61	36	77	76	65	870
	ホルター心電図	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
	脳波	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	3
	超音波	10	12	16	16	16	13	19	21	17	12	16	22	190
	肺機能	6	21	7	2	4	4	2	5	2	1	3	3	60
	眼底	0	0	1	0	2	4	5	0	1	2	0	0	15
	眼圧	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	純音聴力	1	6	15	3	3	4	3	1	3	6	3	7	55
合計	2,785	5,543	4,208	4,993	5,624	5,060	5,692	4,335	3,664	4,631	4,935	4,648	56,118	
消化器外来	病理	4	1	0	1	1	6	1	3	0	2	2	2	23
	合計	4	1	0	1	1	6	1	3	0	2	2	2	23
小児科外来	尿・糞便	24	33	82	34	41	37	46	40	66	34	28	42	507
	血液	102	114	186	114	96	150	144	96	114	68	107	198	1,489
	生化学	95	157	286	186	200	239	188	146	201	95	216	212	2,221
	免疫	164	158	182	74	46	93	140	80	51	74	142	298	1,502
	染色体	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	細菌・ウイルス	174	156	153	316	264	263	207	261	330	389	221	345	3,079
	細胞診	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	心電図	1	1	1	1	2	2	2	2	2	0	0	0	14
	○D検査	3	6	4	6	5	7	3	2	4	4	5	5	54
	ホルター心電図	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	脳波	0	0	1	1	1	1	0	0	0	0	0	0	4
	超音波	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	2
	肺機能	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	眼底	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	563	625	895	732	655	793	730	627	768	664	719	1,101	8,872	
入院	尿・糞便	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	血液	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	生化学	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	免疫	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	細菌・ウイルス	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	病理	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	細胞診	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	心電図	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	ホルター心電図	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	脳波	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	超音波	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	肺機能	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	眼底	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	合計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
総合計	3,352	6,169	5,103	5,726	6,280	5,859	6,423	4,965	4,432	5,297	5,656	5,751	65,013	

(注釈) 令和4年4月18日より入院病棟休止中にて入院患者のデータなし

(4) 薬局業務実施状況

ア. 処方箋枚数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間合計
a. 外来処方 (院内)	1,051	1,178	1,178	1,265	1,254	1,280	1,374	1,254	1,429	1,282	1,252	1,524	15,321
b. 外来処方 (院外)	155	148	175	165	168	166	170	161	169	175	225	210	2,087
院外の割合 = $b/(a+b)$	12.9%	11.2%	12.9%	11.5%	11.8%	11.5%	11.0%	11.4%	10.6%	12.0%	15.2%	12.1%	12.0%
c. 入院処方	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
合計 = $a+b+c$	1,207	1,326	1,353	1,430	1,422	1,446	1,544	1,415	1,598	1,457	1,477	1,734	17,409

イ. ジェネリック医薬品（後発品）の使用状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間合計
a. 後発品	120,734	114,259	123,757	118,819	124,307	124,790	121,326	114,010	129,546	116,776	113,681	138,173	1,460,178
b. 先発品 (後発品あり)	27,737	27,743	29,449	25,677	27,675	30,524	27,352	28,727	28,081	30,376	23,457	32,728	339,526
c. 先発品 (後発品なし)	23,432	35,801	23,628	26,527	20,893	27,602	25,547	26,128	29,593	20,571	18,976	22,780	301,478
後発品割合 = $a/(a+b)$	81.32%	80.46%	80.78%	82.23%	81.79%	80.35%	81.60%	79.87%	82.19%	79.36%	82.90%	80.85%	81.13%

(注釈) 規格単位数量で算出した医薬品数量をもとに計算

(注釈) ジェネリック医薬品使用割合 = (ジェネリック医薬品数量) / (ジェネリック医薬品数量 + 先発医薬品(後発医薬品あり))

(5) 上部消化管内視鏡検査実施状況

年齢(才)	実施数		胃がん		食道がん	
	男	女	男	女	男	女
～19	0	0	0	0	0	0
20～24	0	1	0	0	0	0
25～29	0	0	0	0	0	0
30～34	1	0	0	0	0	0
35～39	1	1	0	0	0	0
40～44	0	1	0	0	0	0
45～49	1	1	0	0	0	0
50～54	4	3	0	0	0	0
55～59	5	0	0	0	0	0
60～64	5	8	0	0	0	0
65～69	10	9	0	0	0	0
70～	60	57	0	1	1	0
(小計)	87	81	0	1	1	0
合計	168		1		1	

(6) 栄養指導件数(延べ人数)

分類	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
内科	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	2
小児科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	2

(7) リハビリテーション実施状況

ア. 利用者総数(延べ人数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
入院	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
単位数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
外来	88	82	95	62	63	70	62	69	58	51	51	76	827
単位数	130	123	146	97	100	115	104	115	96	83	76	125	1,310
合計	88	82	95	62	63	70	62	69	58	51	51	76	827
単位数	130	123	146	97	100	115	104	115	96	83	76	125	1,310

イ. 脳血管疾患等リハビリテーション(延べ人数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
入院	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
単位数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
外来	40	36	42	27	27	34	28	29	25	20	17	28	353
単位数	72	65	76	51	49	64	56	58	50	40	34	56	671
合計	40	36	42	27	27	34	28	29	25	20	17	28	353
単位数	72	65	76	51	49	64	56	58	50	40	34	56	671

ウ. 運動器リハビリテーション(延べ人数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
入院	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
単位数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
外来	48	46	53	35	36	36	34	40	33	31	34	48	474
単位数	58	58	70	46	51	51	48	57	46	43	42	69	639
合計	48	46	53	35	36	36	34	40	33	31	34	48	474
単位数	58	58	70	46	51	51	48	57	46	43	42	69	639

エ. 廃用症候群リハビリテーション(延べ人数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
入院	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
単位数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
外来	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
単位数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
単位数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

オ. 呼吸器リハビリテーション(延べ人数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
入院	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
単位数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
外来	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
単位数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
単位数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

カ. その他の外来リハビリテーション（延べ人数）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
合計	15	13	15	13	10	15	14	10	12	3	7	8	135

キ. 訪問リハビリテーション（延べ人数）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
合計	178	155	185	176	162	172	168	187	161	166	156	171	2,037

（注釈）介護保険と医療保険を含む

ク. 小児構音訓練（延べ人数）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
合計	6	6	6	7	7	5	4	7	3	6	4	3	64

ケ. 小児運動機能訓練（延べ人数）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
合計	1	2	2	2	0	1	1	1	1	0	0	0	11

（注釈）実人数2人（1年あたり）

（注釈）令和4年4月18日より入院病棟休止中にて入院患者のデータなし

(8) 入院施設(19床)利用状況

ア. 月別入院数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
女	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
入院延べ	14	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	14

イ. 月別退院数

(注釈) カッコ内は、死亡退院数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
男	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
女	1 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (1)
合計	1 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (1)

ウ. 入院期間

(注釈) カッコ内は、死亡退院数

	7日以内	30日以内	60日以内	90日以内	150日以内	150日超	合計
男	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
女	0 (0)	1 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (1)
合計	0 (0)	1 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (1)

エ. 入院時の性別・年齢別内訳

	64歳以下	65~69	70~74	75~79	80~84	85~89	90~94	95~99	100歳以上	合計
男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
女	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1
合計	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1

オ. 入院前所在別表・退院先別表

	入 院 前									
	老人保健施設	特 養	自 宅	他医療機関	有料老人	サ 高 住	グループホーム	生保施設	住所不定	
男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
女	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0

	退 院 先									
	老人保健施設	特 養	自 宅	他医療機関	有料老人	サ 高 住	グループホーム	生保施設	その他	死亡退院
男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
合計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1

カ. レスパイト及び社会的入院の受け入れ件数

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
レスパイト入院	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
社会的入院	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

キ. 緩和ケア受け入れ件数

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
件数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

ク. 夜間受け入れ件数

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
件数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

(注釈) 令和4年4月18日より病棟一時休止のため受け入れ不可となっています

ケ. 入院連携窓口相談件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	入院
戸田中央総合病院	2	1	2		1	1		1	2		1		11	0
戸田中央リハビリテーション病院					1								1	0
中島病院				1									1	0
公平病院		2					1						3	0
さいたま医療センター										1			1	0
赤羽在宅クリニック		1				1							2	0
梅田クリニック			1										1	0
福田内科				1									1	0
優和の杜										1			1	0
戸田市立地域包括支援センター													0	0
戸田市訪問看護ステーション													0	0
戸田市立介護老人保健施設	1				1							1	3	0
合計	3	4	3	2	3	2	1	1	2	2	1	1	25	0

(9) 地域連携窓口相談件数

相談経路	月												合計
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
家族と患者	6	2	7	2	5	1	4	6	1	3	1	3	41
地域包括													0
訪問看護・リハビリ							1						1
病院・地域連携	1						2		2		1		6
ケアマネジャー（障害の相談員含む）													0
老健・介護施設		2	2	5	1						2	2	14
市役所福祉部	1												1
福祉保健センター													0
保健所	1												1
学校													0
その他				1							2		3
合計	9	4	9	8	6	1	7	6	3	3	6	5	67

(10) 救急搬送受入状況

ア. 救急受入要請状況

(件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
電話連絡	3	2	2	2	6	2	1	3	4	15	5	1	46
受入	外来のみ	0	0	0	1	0	0	0	0	2	0	0	3
	入院	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	受入不可	3	2	2	1	6	2	1	3	4	13	5	43

イ. 受入患者の内訳

(a) 性別

男	女
1	2

(b) 年齢 (才)

0~	10~	20~	30~	40~	50~	60~	70~	80~	90~	100~
1	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0

(c) 受入時間

外来受付時間内	外来受付時間外
3	0

(d) 受入時の状況

・けいれん発作
・脳出血 心筋梗塞
・便秘

ウ. 受入不可患者の内訳

(a) 性別

男	女	不明
23	19	1

(b) 年齢 (才)

0~	10~	20~	30~	40~	50~	60~	70~	80~	90~	100~	不明
3	0	2	0	3	1	3	12	12	7	0	0

(c) 時間

外来受付時間内	外来受付時間外
41	2

(d) 受け入れ不可の理由

対応困難	38
医師不在	0
専門外	5
満床・病室なし	0
他病院で受入	0

(11) 評価指標

ア. 病床利用率（当院に設置されている病床がどの程度利用されているかを示す割合）

[計算式]

$$\text{延入院患者数} \div \text{年間日数} \div \text{病床数}$$

令和4年度	令和3年度
0.0%	44.1%

イ. 平均在院日数

（入院治療機能をみるための一つの指標で、入院してから退院するまでの期間の平均を見る値）

[計算式]

$$\text{延入院患者数} \div \{ (\text{年間入院者数} + \text{年間退院者数}) \div 2 \}$$

令和4年度	令和3年度	比較	
		a-b	a/b
a	b		
1.9日	38.7日	-36.8日	4.9%

ウ. 入院患者のリハビリテーション実施率

[計算式]

$$\text{リハビリテーションを実施した入院患者数} \div \text{入院患者数}$$

令和4年度	令和3年度
a	b
0.0%	66.7%

エ. 入院患者の要介護度・要支援度別割合

区分		令和4年度		令和3年度		比較 a-b
		入院患者数(a)	割合	入院患者数(b)	割合	
要支援	要支援1	0人	0.0%	1人	100.0%	-1人
	要支援2	0人	0.0%	2人	200.0%	-2人
	小計	0人	0.0%	3人	4.1%	-3人
要介護	要介護1	0人	0.0%	5人	500.0%	-5人
	要介護2	0人	0.0%	4人	400.0%	-4人
	要介護3	1人	100.0%	16人	21.6%	-15人
	要介護4	0人	0.0%	25人	33.8%	-25人
	要介護5	0人	0.0%	10人	13.5%	-10人
	小計	1人	100.0%	60人	81.1%	-59人
要支援・要介護 計		1人	100.0%	63人	85.1%	-62人
その他 ※		0人	0.0%	11人	14.9%	-11人
合計		1人	100.0%	74人	100.0%	-73人

※ 介護保険の申請中、未申請、不明等

オ. 外来患者満足度調査

1 受診年齢について

15歳未満	15歳～29歳	30歳～59歳	60歳～79歳	80歳以上	未回答
17.4%	2.8%	18.3%	39.4%	21.1%	1%

2 受診回数について

定期受診	定期受診以外	初診	未回答
49.5%	24.8%	0.9%	24.8%

3 医師の態度・言葉遣いについて

良い	悪い	未回答
99.1%	0%	0.9%

4 医師の診察・説明について

話しやすい	話しにくい	未回答
98.2%	0%	1.8%

5 受付・医療職員の態度・言葉遣いについて

良い	悪い	未回答
95.4%	0.9%	3.7%

6 待合室や診察室の清潔面について

清潔	汚い	未回答
100%	0%	0%

7 感染症対策について

十分	不十分	未回答
97.2%	2.8%	0%

8 センターのホームページについて

わかりやすい	わかりにくい	みていない	未回答
33.9%	3.7%	57.8%	4.6%

9 センター専門外来についての認知度

	知っている	知らない	未回答
コロナアフターケア外来	27.5%	53.2%	19.3%
小児頭痛外来	11.9%	64.2%	23.9%
小児起立性調節障害外来	7.3%	67.9%	24.8%
禁煙外来	36.7%	45.0%	18.3%
アレルギー性鼻炎の 舌下免疫療法	15.6%	61.5%	22.9%
認知症患者サポート	16.5%	62.4%	21.1%

※令和4年度外来患者満足度アンケートより

(12) 新型コロナウイルスに関する取り組み

ア.発熱外来患者数

(人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
患者人数	194	147	132	308	356	248	165	201	265	276	247	208	2,747

イ.発熱外来受診率

[計算式]

発熱外来受診者数 ÷ 外来受診者数

令和4年度	令和3年度
9.1%	5.7%

ウ.新型コロナウイルス検査件数(PCR検査・抗原検査)

(件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
患者人数	189	146	130	303	336	266	159	199	275	267	223	164	2,657

エ.抗ウイルス薬の処方数

ラゲブリオ

(件)

年齢(才)	18~60	61~69	70~79	80~89	90~99	100~	(小計)	合計
男	14	9	3	6	0	0	32	73
女	9	10	10	10	2	0	41	

ゾコーバ

(件)

年齢(才)	12~60	61~69	70~79	80~89	90~99	100~	(小計)	合計
男	2	0	0	0	0	0	2	3
女	1	0	0	0	0	0	1	

オ.コロナアフターケア外来受診者数(延べ人数)

(人)

分類	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
男	1	7	3	2	6	3	2	1	4	2	1	0	32
女	4	4	2	1	6	10	8	7	12	11	9	6	80
合計	5	11	5	3	12	13	10	8	16	13	10	6	112

カ.新型コロナウイルスワクチン種類別接種実績（戸田市民のみ）

【12歳以上】 (人)

	ファイザー
1回目	285
2回目	309
3回目	1,560
4回目	2,776
5回目	751
合計	5,681

【5歳以上11歳以下】 (人)

	ファイザー
1回目	110
2回目	198
3回目	152
合計	460

【5歳以下】 (人)

	ファイザー
1回目	43
2回目	23
3回目	15
合計	81

キ.新型コロナウイルスワクチン種類別接種率（戸田市民のみ）

[計算式]

当院ワクチン接種者数 ÷ 戸田市内ワクチン接種者数

【12歳以上】 (人)

	ファイザー
1回目	35.1%
2回目	32.3%
3回目	4.4%
4回目	5.4%
5回目	3.8%
合計	5.2%

【5歳以上11歳以下】 (人)

	ファイザー
1回目	6.9%
2回目	8.5%
3回目	14.7%
合計	9.1%

【5歳以下】 (人)

	ファイザー
1回目	15.5%
2回目	9.8%
3回目	11.5%
合計	12.6%

戸田市内ワクチン接種者数

【12歳以上】 (人)

	ファイザー	合計
1回目	811	811
2回目	956	956
3回目	35,108	35,108
4回目	51,626	51,626
5回目	19,779	19,779
合計	108,280	108,280

【5歳以上11歳以下】 (人)

	ファイザー	合計
1回目	1,599	1,599
2回目	2,339	2,339
3回目	1,037	1,037
4回目	61	61
合計	5,036	5,036

【5歳以下】 (人)

	ファイザー	合計
1回目	278	278
2回目	235	235
3回目	131	131
合計	644	644

3. 訪問看護ステーション事業

(1) 月別利用者数

(人)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
医療 保険	訪問延べ人数	116	111	130	118	139	133	143	164	147	191	158	131	1,681
	訪問実人数	17	18	21	20	22	22	21	22	22	29	22	21	(注釈) 30
	新規利用者数	3	1	3	0	2	0	2	2	2	0	0	1	16
	終了者数	0	0	0	1	0	2	1	0	2	1	1	0	8
介護 保険	訪問延べ人数	263	268	304	295	288	262	278	321	277	290	258	289	3,393
	介護(再掲)	225	224	256	251	231	208	217	262	213	223	186	223	2,719
	予防(再掲)	38	44	48	44	57	54	61	59	64	67	72	66	674
	訪問実人数	52	52	51	50	48	47	54	55	53	56	52	50	(注釈) 75
	新規利用者数	27	1	3	2	0	1	2	2	3	1	2	1	45
	終了者数	3	1	2	2	2	2	2	0	1	2	5	4	26
合 計	訪問延べ人数	379	379	434	413	427	395	421	485	424	481	416	420	5,074
	訪問実人数	69	70	72	70	70	69	75	77	75	85	74	71	(注釈) 105

(注釈) 年間実人数を示す

(2) 利用者の年齢別

(人)

	0~9歳	10~19歳	20~64歳	65~74歳	75~84歳	85歳以上	合計
合計	1	0	17	14	33	40	105

(3) 終了者の内訳

(人)

項目	他サービス利用	入院	軽快	死亡	合計
人数	11	10	4	9	34

(4) 利用者の疾患別状況

(人)

疾患名	感染症	新生物	血液疾患	代謝異常	精神疾患	神経系	眼疾患	耳疾患	循環器系	脳血管疾患	呼吸器系	消化器系	皮膚疾患	筋骨格	腎疾患	妊娠	周産期	先天異常	その他	合計	
人数	0	8	4	11	7	28	2	0	7	13	3	0	1	15	2	0	0	0	0	4	105

(5) 介護保険利用者の要介護度

(人)

	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
総数	8	16	24	24	12	13	8	105

(6) 医療保険の加算内容

(人)

内 訳	実人数	延べ人数
24 時間対応体制加算	12	94
特別管理加算 難	9	63
緊急訪問看護加算	5	15
乳幼児加算	1	7
在宅患者緊急時カフリス加算	4	7
退院支援指導加算	3	3
複数名訪問看護加算	10	97
複数名訪問看護加算・補助者	1	14
難病等複数回訪問看護加算 2 回	7	176
難病等複数回訪問看護加算 3 回以上	2	2
長時間訪問看護加算	2	3
ターミナルケア療養費	3	3
看護・介護職員連携強化加算	1	6
夜間・早朝訪問看護加算	6	10
深夜訪問看護加算	3	3

(7) 介護保険の時間別内訳

(人)

内 訳	延べ人数
30 分	891
60 分	585
90 分	53
リハビリ 40 分	782
リハビリ 60 分	408
予防リハビリ 30 分	203
予防リハビリ 40 分	433
予防リハビリ 60 分	38

(8) 介護保険の加算内容 (人)

内 訳	実人数	延べ人数
特別管理加算 I	3	25
特別管理加算 II	7	40
緊急時訪問看護加算	12	75
初回加算	48	48
ターミナルケア加算	3	3
複数名訪問加算 30 分	1	1
複数名訪問加算 60 分	2	20
複数名訪問加算 90 分	1	1
リハビリ複数名訪問加算 40 分	28	33
リハビリ複数名訪問加算 60 分	5	5
夜間早朝加算 30 分	1	1
夜間早朝加算 60 分	1	1
夜間早朝加算 90 分	1	1
夜間長時間加算 90 分	1	1

(9) 医療機関の内訳 (人)

機 関	人 数
戸田市立市民医療センター	33
市内医療機関 (14 機関)	46
市外医療機関 (21 機関)	27

(11) 訪問看護の内容

区分	内 容	件 数	割合
医療処置等	与薬の管理（点眼・軟膏・座薬・湿布等）	1,069	39.6
	創処置	1,115	41.3
	疼痛の管理	352	13.1
	人工肛門の管理	47	1.7
	用指摘便・洗腸	330	12.2
	吸引	241	8.9
	呼吸の管理	263	9.8
	人工呼吸器等の管理（在宅酸素含む）	372	13.8
	尿管・腎瘻カテーテルの管理	222	8.2
	気管カニューレの管理	218	8.1
	胃瘻・胃カテーテルの管理	301	11.2
	血糖チェック・インスリン投与	60	2.2
	点滴の管理	121	4.5
	その他のカテーテルの管理	30	1.1
リハビリ（マッサージ、リラクゼーション含む）		4,189	155.3
移動・移乗・散歩の介助		982	36.2
身の回りの世話等	排泄介助（オムツ交換を含む）	1,108	41.1
	シーツ・寝衣交換	609	22.6
	整容（爪切り・髭剃り等）	544	20.2
	入浴・シャワー介助	130	4.8
	清潔ケア（清拭・洗髪・陰部、臀部洗浄）	1,169	43.3
	栄養・食事・水分摂取に関わる援助	403	14.9
	口腔ケア	182	6.7
	手・足浴	577	21.4
精神的援助		3,426	127.0
終末期の援助		26	1.0
安楽への支援		124	4.6
認知症のケア		484	17.9
環境整備		541	20.1
会話・指導		345	12.8
家族のケア		1,297	48.1
緊急時の対応		21	0.8
社会資源の活用		46	1.7
他機関への働きかけと連絡		289	10.7
医師との連絡・調整		156	5.8
受診の介助		30	1.1

※割合（パーセント）＝件数／訪問延べ人数（5,074人）

4. 地域包括支援センター事業

(1) 月別相談数

(人)

相談事業内容	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
包括的支援事業													
総合相談	137	202	207	240	362	255	297	266	242	264	249	329	3,050
権利擁護	15	7	19	7	1	10	4	9	10	10	3	6	101
包括的・継続的 マネジメント	16	37	40	32	34	21	40	43	42	36	16	23	380
その他の相談													
指定介護予防支 援・介護予防ケア マネジメント	220	246	291	248	230	292	268	295	256	290	252	308	3,196
認知症地域支援・ケア向上事業													
認知症地域支援 推進員	90	101	110	75	42	75	96	93	83	90	50	90	995
合計	478	593	667	602	669	653	705	706	633	690	570	756	7,722

(2) 相談対応方法

相談方法	対応件数
電 話	5,869
来 所	570
訪 問	1,283
合 計	7,722

(3) 権利擁護業務

業務内容	延べ件数	実人数
成年後見制度などの相談	20	9
高齢者虐待対応の相談(疑いを含む)	85	31
高齢者虐待対応会議	3	2

(4) 包括的・継続的ケアマネジメント支援業務

業務内容	対象数
小地域ケアマネ会(圏域の介護支援専門員対象)	7人
居宅介護支援事業所への訪問	4か所

(5) 認知症地域支援・ケア向上事業

事業内容	対象数
認知症初期集中支援チームとの連携	2人 (実人数)
認知症カフェの継続支援	5か所
認知症カフェ周知イベント	0回
カフェ実施事業所交流会支援	1回
キャラバンメイト交流会	1回

(6) 地域ケア会議

ア. 地域ケア個別会議 6回 (注釈) 個別ケースの課題解決に向けた検討
ネットワーク構築に向けた検討

イ. 地域ケア圏域会議 2回 (注釈) 地域のネットワーク構築・地域課題発見
・戸田市美笹地区あんしんネットワーク会議

日時	内容
7月20日	テーマ「ケアラー支援のために」 ・埼玉県福祉部地域包括ケア課による講演 ・ケアラー及びヤングケアラーについて学び、地域の見守り活動に生かす。 参加者 52人
2月15日	テーマ「日頃からできる防災対策」 ・戸田市役所危機管理防災課による講演 ・日頃からできる防災対策について学び、地域の見守り活動に生かす。 参加者 57人

・あんしんネットワーク会員からの相談件数 46件

(7) 一般介護予防事業

・TODA 元気体操の立ち上げ・運営支援 12か所

(8) 講座 2回

講座内容	件数	参加人数
認知症サポーター養成講座	1	27
もしものときのための人生会議 (ACP)	1	17
合計	2	44

コロナ禍のため、講座の代わりに回覧による啓発を実施 1回

実施月	内容
2月	いざという時のために知って安心・自分のためにみんなの安心 成年後見制度

(9) 指定介護予防支援事業(介護予防ケアマネジメント含む)

要支援認定者・事業対象者のケアプラン作成数	件数
戸田市立地域包括支援センター直営	1,032
指定居宅介護支援事業者への委託	729

IV 研究

IV 研究

1. 令和4年度外来アンケート結果について

○手塚陽子 大庭恵美 藤堂志緒
金長美奈子 永山優子 岩崎みゆき
武田純一 飯島昌一

[はじめに]

平成15年度より、年に1回外来患者に対してアンケートを行い、診療部門のサービス向上・運営の効率化の参考としてきた。

今年度は外来利用者に対し2か月間、市民医療センターに対する利用者のニーズを把握するためにアンケートを実施したことから、その結果を報告する。

[対象と方法]

市民医療センター（以下センター）の外来受診者を対象として、令和4年7月19日（火）から令和4年9月16日（金）まで、アンケート調査を実施した。

別紙1のアンケート用紙を使用し、外来待合室にて担当職員がアンケートへの協力をお願いし、回収した。

[結果]

アンケート結果を別紙2に示す。なお、参考資料として令和元年度の結果を示す。

実施日数51日間、回答数442枚。新型コロナウイルス感染拡大前の令和元年と比較し、実施日数は約8倍となっているが、回答数はほぼ2倍であり、実施期間後半になると回答数が少なくなった。（令和元年は回答日数6日間で回答数210枚）

問1-1. 年齢

70歳代が35.0%と一番多く、次いで80歳以上が23.3%であり、70歳以上は合わせて58.3%である。15歳未満は9.7%、15～19歳は0.4%であり、20歳未満は10.1%である。これまで実施したアンケート結果と比べて、20歳未満の割合は減少し、70歳以上の割合が増えている。

（令和元年は20歳未満20.5%、70歳以上33.3%）

問1-2 受診状況

初診は3.6%、再診は84.3%であり、初診の割合は減り、再診の割合が増えている。

（令和元年は初診6.7% 再診50%）

問2. 住まい

センター近郊の美女木・笹目在住の方は75.6%、その他の戸田市内の方は19.5%であり、市外の方は4.9%である。

（令和元年は美女木・笹目在住79% その他の戸田市14.8%、市外6.2%）

問3. 新設科希望（複数回答可）

皮膚科、眼科、外科、胃腸（消化器）内科の順で新設希望が多い。内科、小児科、耳鼻咽喉科などの既存の科を書かれた方もいた。また、整形外科や耳鼻咽喉科の常設希望があった。（令和元年度は皮膚科42.2%、眼科33%）

問4. オンライン診療について

①オンライン診療を知っているか

74.4%の方がオンライン診療という言葉は知っている」と答えた。

②ネット端末の有無（複数回答可）

スマートフォン、パソコン、タブレットの順で持っている」と答えた方が多い。73.1%の方がいずれかのネット端末を持っているが、18.4%の方はネット端末を持っていない。

③ネットについて相談できる人の有無

61.9%の方はネットについて相談できる人が身近にいる」と答えたが、31.2%の方は相談できる人がいない」と答えた。

④オンライン診療を利用したいか

28.0%の方が当センターでオンライン診療を利用したい」と答え、15.9%の方が利用したくない」と答えたが、一番多かったのは分からない」と答えた方で、49.1%いた。

⑤看護師派遣のオンライン診療を利用したいか

24.0%の方がオンライン診療を利用したい」と答え、13.0%の方が利用したくない」と答えたが、一番多かったのはオンライン診療同様分からない」と答えた方で、55.8%いた。

問5. 自由記載

* オンライン診療・スマホ・タブレットのやり方がわからない。同様記載 6 件

* オンライン診療を早くやってほしい・利用してみたい。同様記載 7 件

* 診療科目を増やしてほしい。同様記載 6 件

* 整形・小児神経の診療日を増やしてほしい。同様記載 4 件

* 内科休診が多い。同様記載 2 件

* 入院病棟を早く再開してほしい。同様記載 2 件

* 交通の便が悪い。同様記載 2 件

* 市民医療センターは安心する・助かる。同様記載 6 件

[考察]

アンケート実施期間については、例年より実施期間を少し長めにとったため、多くの市民の意見を取り入れられ、例年に比べより多くのデータを得ることができた。

アンケート結果より、当センターの受診者は、70歳以上の高齢者が多く、高齢者の受診割合が令和元年度と比較して上がっていることが分かった。また、受診者の8割以上が定期受診利用者であり、センター近郊の美女木・笹目地区の割合が多かった。

美女木・笹目地区は戸田市の中でも人口は少ないものの、高齢者が多い地域であり、安心感と信頼感を持って当センターが利用され、地域に根差した医療が提供できていると考えられる。

自由記載では、満足の感想よりも要望の意見が多かった（満足感 11 件、要望 20 件、その他 16 件、オンライン診療に対するコメントは除く）。このことにより、当センターに対して、現状のサービスで満足いただけている面もあるが、今以上の事を期待されていると考えられる。

新設科希望も多くいただいたが、内科、小児科、整形外科など既存の科を記入された方も複数いた。

当センターでは認知症サポート専門外来、コロナ・アフターケア外来、小児頭痛外来、小児起立性調節障害専門外来、アレルギー性鼻炎に対する免疫舌下療法、禁煙外来も行っており、既存の科とともに、

これらの専門外来の周知徹底を行っていくことで、当センターの「安心・安全・安定」した医療を提供していくことができると考え、当センター診療科をアピールしたパンフレットを作成し配布を開始した。

また、現在利用している高齢者を含め全ての方が、安心して分かりやすい受診ができるように、案内表示等をより分かりやすく、誰もが見やすい表示の仕方を考え作成していく必要がある。

接遇面では、患者に対して安心して受診できるような声掛け、分かりやすい対応を、職員個々が心掛けるよう自覚を促していきたい。

オンライン診療や看護師がタブレットを持参し診療の補助を行うアウトリーチ型のオンライン診療については興味・関心を持っている方が、自由記載も含め多数いたが、実際にどのように行われているのかイメージできず、分からないと答える方が多かった。今後オンライン診療をどのように行い、情報を発信していくのかについて検討していく必要がある。

[まとめ]

今回、当センターの外来利用者に対し、診療部門のサービス向上・運営の効率化を図ることを目的に51日間のアンケート調査を行い、当センター利用者の状況を把握することができた。

新型コロナウイルス感染症拡大の時期であり、発熱外来受診者には感染症対策の観点からアンケートを実施できなかったものの、高齢者の受診割合が上がっていることがわかったが、次年度以降も継続してアンケートを実施し、傾向を分析していく必要がある。

今後も医療の安全性、有効性を向上させるとともに、受診時に高齢者の生活機能評価等を行い、地域でよりよい生活が長く送れるようなサポートも行っていきたい。また、専門外来の認知度を上げることで市民医療センターのアピールに繋がられるよう工夫を行っていきたい。

外来利用者様アンケート

1. 受診された方についてお尋ねします。当てはまるものに○をつけてください。

年齢	・ 15歳未満	・ 15歳～19歳	・ 20歳代	・ 30歳代	・ 40歳代	・ 50歳代	・ 60歳代	・ 70歳代	・ 80歳以上
受診状況	a. 初診	b. 定期的に受診	c. その他						

2. お住まいはどちらですか。当てはまるものに○をつけてください。

- a. 美女木・笹目地区 b. 戸田市内（a以外） c. 市外（ ）

3. 当院で新設してほしいと思う科目に○を付けてください。（複数回答可）

- a. 眼科 b. 皮膚科 c. 胃腸（消化器）内科 d. 心療内科
- e. 循環器内科 f. 泌尿器科 g. 婦人科
- h. 外科（怪我の処置、縫合など） i. その他（ ）

4. オンライン診療について該当項目に○を付けてください

- ①オンライン診療という言葉を知っていますか？（知っている・知らない）
- ②インターネット端末がありますか？（パソコン・タブレット・スマートフォン・持っていない）
- ③インターネットについて身近に相談できる人がいますか？（いる・いない）
- ④当院でオンライン診療を導入したら利用したいですか？
（利用したい・利用したくない・分からない）
- ⑤看護師をご自宅へ派遣するオンライン診療を利用したいですか？
（利用したい・利用したくない・分からない）

※オンライン診療とは…スマートフォンやタブレットなどを用いて、自宅や外出先からも利用できる診察方法のことです。

5. ご意見やお気づきになったこと、ご要望・感想などあればお書きください。

★ご協力ありがとうございました。記入後は回収箱へ入れてください。

別紙 2

外来アンケート集計結果

実施期間 令和4年7月19日（火）～令和4年9月16日（金）
 回答数 446 枚

		人数	割合
図1-1	年齢	15歳未満	43 9.7%
		15歳～19歳	2 0.4%
		20歳代	2 0.4%
		30歳代	5 1.1%
		40歳代	19 4.3%
		50歳代	60 13.5%
		60歳代	55 12.3%
		70歳代	156 35.0%
		80歳以上	104 23.3%
図1-2	受診状況	a. 初診	16 3.6%
		b. 定期受診	376 84.3%
		c. その他	26 5.8%
		未回答	28 6.3%
図2	住まい	a. 美女木・笹目	337 75.6%
		b. 戸田市内	87 19.5%
		c. 市外	22 4.9%
図3	新設希望科（複数回答）	a. 眼科	166 21.3%
		b. 皮膚科	178 22.9%
		c. 胃腸（消化器）内科	75 9.7%
		d. 心療内科	42 5.4%
		e. 循環器内科	60 7.7%
		f. 泌尿器科	57 7.3%
		g. 婦人科	51 6.6%
		h. 外科	88 11.3%
		i. その他	19 2.4%
		特になし	3 0.4%
		未回答	39 5.0%
＜オンライン診療について＞			
図4-1	オンライン診療を知っているか	知っている	332 74.4%
		知らない	84 18.9%
		未回答	30 6.7%
図4-2	ネット端末の有無（複数回答）	パソコン	156 25.4%
		タブレット	63 10.3%
		スマートフォン	230 37.4%
		ない	113 18.4%
		未回答	52 8.5%
図4-3	相談できる人の有無	いる	276 61.9%
		いない	139 31.2%
		未回答	31 6.9%
図4-4	オンライン診療利用したいか	利用したい	125 28.0%
		利用したくない	71 15.9%
		分からない	219 49.1%
		未回答	31 7.0%
図4-5	看護師派遣オンライン診療	利用したい	107 24.0%
		利用したくない	58 13.0%
		分からない	249 55.8%
		未回答	32 7.2%

* 参考資料 令和元年度

		人数	割合
年齢	20歳未満	43	20.5%
	20歳代	6	2.9%
	30歳代	8	3.8%
	40歳代	31	14.8%
	50歳代	21	10.0%
	60歳代	24	11.4%
	70歳以上	70	33.3%
	未回答	7	3.3%

受診状況	a. 初診	14	6.7%
	b. 定期受診	105	50.0%
	c. その他	44	21.0%
	未回答	47	22.3%
住まい	a. 美女木・笹目	166	79.0%
	b. 戸田市内	31	14.8%
	c. 市外	13	6.2%
新設希望	皮膚科	119	42.2%
	泌尿器科	27	9.6%
	眼科	93	33.0%
	その他	13	4.6%
	未回答	30	10.6%

図1-1 年齢構成

1-	15歳未満	43
2-	15歳～19歳	2
3-	20歳代	2
4-	30歳代	5
5-	40歳代	19
6-	50歳代	60
7-	60歳代	55
8-	70歳代	156
9-	80歳以上	104

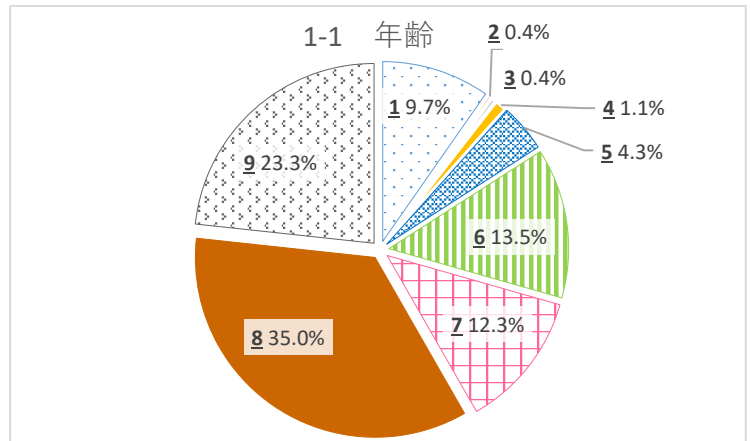


図1-2 受診状況

1-	初診	16
2-	定期受診	376
3-	その他	26
4-	未回答	28

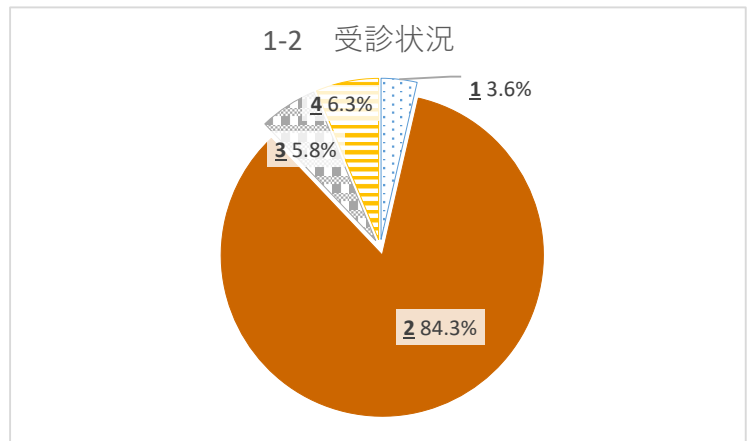


図2 住まい

1-	美女木・笹目	337
2-	戸田市内	87
3-	市外	22

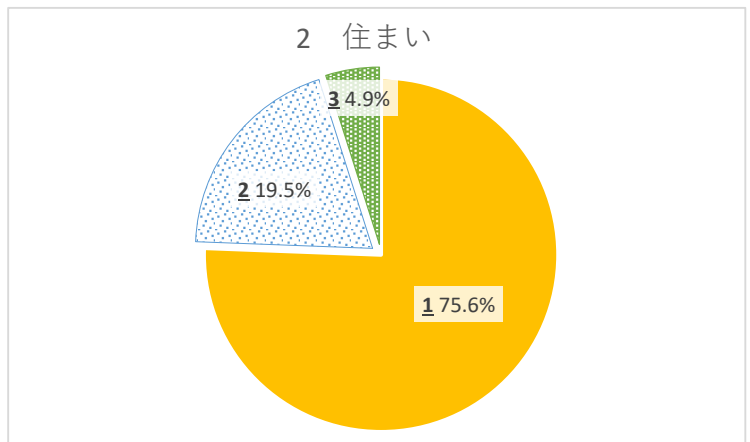


図3 新設希望科

1-	眼科	166
2-	皮膚科	178
3-	胃腸（消化器）内科	75
4-	診療内科	42
5-	循環器内科	60
6-	泌尿器科	57
7-	婦人科	51
8-	外科	88
9-	その他	19
10-	特になし	3
11-	未回答	39

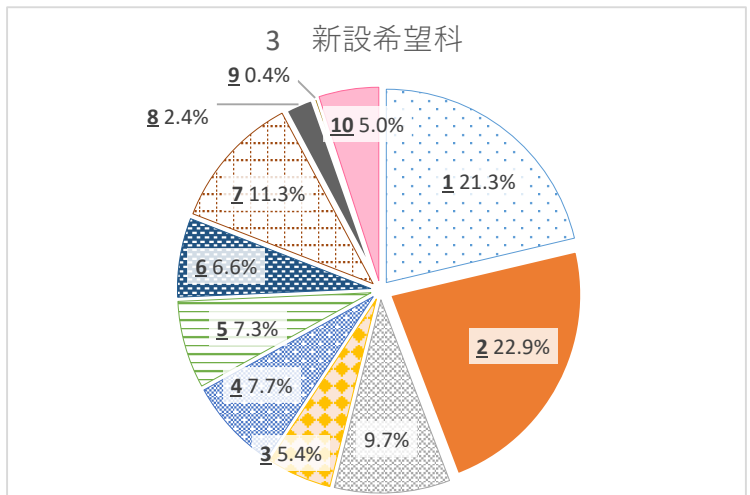


図4-1 オンライン診療について

1-	知っている	332
2-	知らない	84
3-	未回答	30

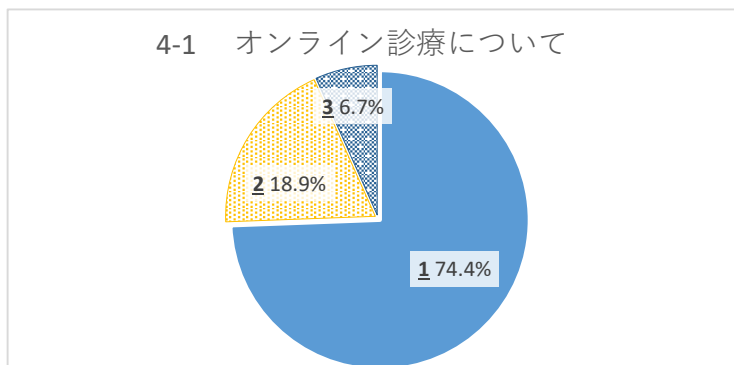


図4-2 ネット端末の有無

1-	パソコン	156
2-	タブレット	63
3-	スマートフォン	230
4-	ない	113
5-	未回答	52

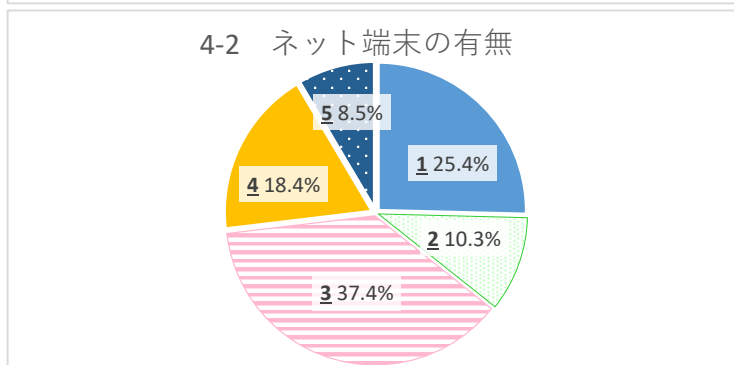


図4-3 相談できる人の有無

1-	いる	276
2-	いない	139
3-	未回答	31

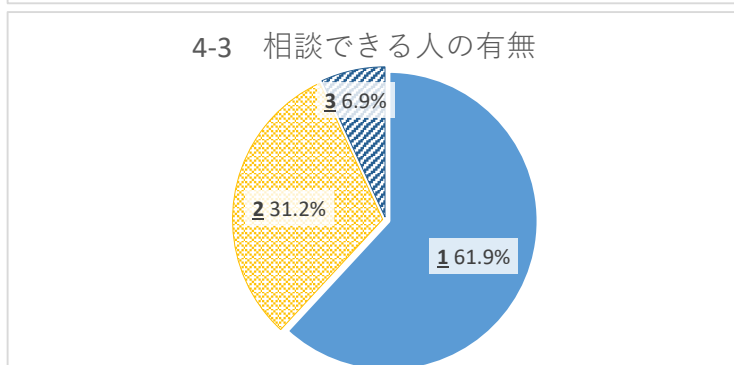


図4-4 オンライン診療利用

1-	利用したい	125
2-	利用したくない	71
3-	分からない	219
4-	未回答	31

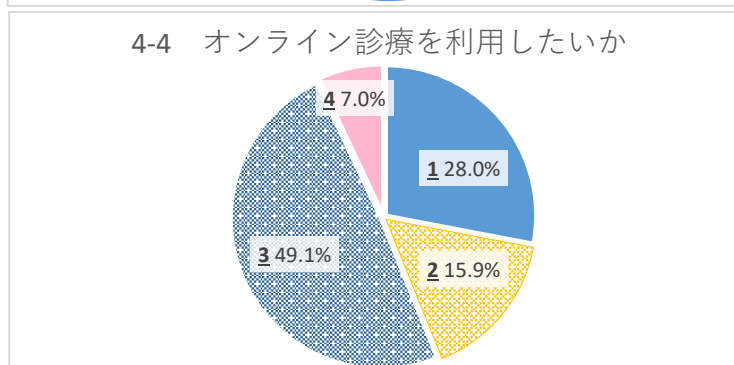
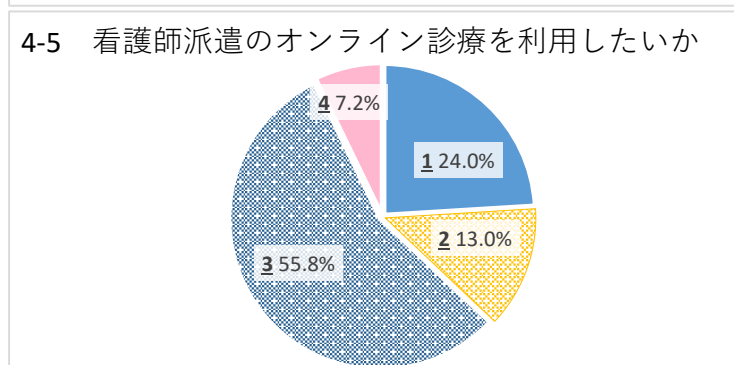


図4-5 看護師派遣のオンライン診療

1-	利用したい	107
2-	利用したくない	58
3-	分からない	249
4-	未回答	32



2. オンライン診療の実証実験と社会的処方について

○佐久間文江 岡田規子 高木かおり 増田友弥
飯島昌一

[はじめに]

市民医療センター（以下センター）では、オンライン診療を令和5年度より開始する予定で準備をすすめている。令和4年4月に公平病院より同院保有の医療 MaaS（※）を活用した医療と介護の連携依頼があり、センターのオンライン診療の伸展に有効であるため、実証実験及び協議を重ねたので報告する。

[目的]

戸田市では、地域課題の解決を目指した3つのプロジェクト（子ども応援、100年健康、防災）の着実な推進を図るために、3大プロジェクト推進会議を立ち上げ、関連部局からなる部会を組織し推進している。そのうち、「100年健康プロジェクト」では、だれも取り残されない医療・福祉・地域連携を掲げている。近年、人々の健康や病気が、社会的、経済的、環境的な条件に影響を受けることが広く認められるようになり、人それぞれのSDH（健康の社会的決定因子）を踏まえ、その人にとって最適な地域の社会資源につなげることが重要になってきている。公平病院との連携による医療 MaaS を利用したオンライン診療の実証実験を行い、アウトリーチ型オンライン診療のノウハウを学び、取り組み事例をまとめることで、地域の受診困難者の現状を理解し、医療機関として取り組むべき課題を明確化する。同時に、地域医療機関が社会的処方を実施できるような仕組みづくりを協議し、将来的に面的に拡大させることを目的とする。

[方法]

①戸田市立地域包括支援センターが、美笹地区で医療・介護・社会資源につながっていない高齢者をターゲットに医療ニーズの掘り起こしを行い、公平病院が対象者に対して医療 MaaS を利用したオ

ンライン診療を行い、センター看護師が同行しノウハウを学ぶ。

②社会的処方の仕組みづくりのため、公平病院、センターにおいて実証実験を行い、健康福祉部、社会福祉協議会（以下社協）を加えた定期的な打ち合わせの実施により、スクリーニングシートの作成や社会資源の充実・情報発信、社会資源へつなげるリンクワーカーについて協議する。

[経過]

令和4年7月13日「戸田市と医療法人慈公会公平病院によるオンライン診療の実証実験に係る包括連携協定」を締結。

①については、対象が4例あったがそのうちの2例で医療 MaaS が稼働した。各症例に対してオンライン診療や受診介助、訪問看護導入、検査・入院等の援助を実施していく中で、介護施設入所、高齢者住宅入居までの援助を行い終了となる。センター看護師は各症例のオンライン診療に同行し見学実習を行った。新型コロナウイルス感染症拡大の時期であり、対象者があっても医療 MaaS の稼働に結び付けられない事例が2例あった。

②については、11回の打ち合わせを実施。社会的処方についての進め方を確認しながら公平病院とセンターそれぞれにスクリーニングシートを作成し、実施状況や課題について情報交換を行った。また、社協の生活支援コーディネーターから、地域資源マップについて市内をエリア分けした見やすいマップ作製について情報共有があり、必要な情報交換を行った。健康福祉部からはリンクワーカーについて、生活支援コーディネーター、コミュニティソーシャルワーカー、市内4か所の地域包括支援センター職員が役割を担う方向の説明があった。

[考察]

今回の実証実験については、新型コロナウイルス感染症拡大時期であり、公平病院、センターともに発熱外来やワクチン接種業務に追われ、対象ケースがありながら医療 MaaS の稼働が難しく実践できたのは2例のみであった。しかし、地域の中で自力での社会生

活が限界状況にある方に実際介入し、オンライン診療を行い、訪問看護や入院等の医療・介護サービス導入を経て、施設入居（生活の安定）という最終ゴールまでつなげられた意義は大きい。今回の経験をセンターでのオンライン診療の発展につなげたいと考える。

また、社会的処方について公平病院や関係機関と協議を重ね、センター独自のスクリーニングシートを作成し、外来患者への聞き取りを行っていく中で、人それぞれのSDHを知り、必要な支援へつなげる必要性を学び、医療者として広い視野をもつことが、市民の健康を守るうえで重要であると感じた。スクリーニングシートについては今後も検討を重ね将来的に市内での面展開も視野に入れていきたいと考える。また、地域ごとの資源マップで社会資源が見える化できると、市民へわかりやすく説明することができることから、有意義であると感じた。

[まとめ]

今回、オンライン診療の実証実験と社会的処方についての協議に参加した。

地域包括支援センターは、市民のセーフティネットとして高齢者に関する相談全般を受け付けており、高齢者の介護に関すること以外にも、生活面での不安、虐待案件への対応等、本人、家族及び関係機関から様々な相談が寄せられる。その中には、自力で社会生活を営む限界状況に陥ってから始めて相談に来るケースもいる。

実証実験を通じて、限界状況に陥る前に医療機関としてできる支援は何かを考える機会となった。今後、実証実験の場以外でも、市民や関係機関との関わりの中で、地域のニーズをキャッチしながら、市民の安心・安全のためにセンターとしてできることを考え、実践していきたい。

【参考】※ 医療 MaaS とはオンライン診療システムと医療機器を搭載した自動車である。

3. 自宅で最後まで過ごすことを希望された筋萎縮性側索硬化症（ALS）の利用者を支援して学んだこと

○村松栄美子 若林和重 高橋あゆみ

吉田奈美 新野珠 小野寺有希 佐久間文江

藤堂志緒 川崎育恵 岡田規子 飯島昌一

[はじめに]

市民医療センターでは、在宅療養で看護が必要な利用者に対して、訪問看護ステーション事業を実施している。今回、自宅で最期まで過ごすことを希望された筋萎縮性側索硬化症（以下ALSと記す）の利用者を支援し、症状の進行の速さに支援が追いつかない場面が多くあった。その中でも訪問診療医、看護師、理学療法士、介護支援専門員、薬剤師などの職種で連携して、本人の望む最期を迎えることができた事例を報告する。

[事例紹介と経過]

【訪問看護開始の状況】

40代 男性 ALS 介護者妻

要介護1（区分変更申請中）

背中、足の違和感があり、近医整形外科通院。症状改善みられず、総合病院整形外科受診して、神経内科紹介される。総合病院神経内科受診にて、ALSの診断を受ける。入院治療でラジカット点滴治療開始する。その後は外来通院で点滴していたが、通院困難なため、訪問診療医にきりかえ、自宅で点滴治療していた。症状の進行があり、自力で立位は不可。当初はリハビリの依頼であったが、点滴施行も含めての訪問看護の依頼があり、看護師、理学療法士の訪問開始となる。訪問看護導入時より、延命治療は希望しておらず、自宅で過ごすことを希望されていた。

【看護の実際】

①当初看護師は点滴施行のための訪問であった。その後自力での排便ができなくなり、排便コントロ

ール目的で訪問追加。レシカルボン坐薬、浣腸使用開始時に体幹部に発疹が出現したため、使用禁止となる。微温湯注入で処置するが、便が出せないため、訪問診療医と連携を取りながら、再度、レシカルボン坐薬、浣腸を使用して、問題がないことを確認しながら行った。身長も高く、ほぼ自力での体位保持ができなくなっていたため、本人の負担軽減や安全にケアを提供することを考慮して、看護師2名で訪問してケアを実施した。

②訪問開始2か月目より、呼吸機能低下のため、非侵襲的陽圧換気療法の導入となった。マスクの違和感や、アラーム音の多さに本人は眠れない日があった。医療機器メーカーと連携をとり、設定を細かく変更してもらった。呼吸機能の低下が進み、自力で痰の喀出困難になり、吸引を導入した。妻に吸引手技を指導して、実施できるようになった。夜間に呼吸苦が出現し、緊急で対応することもあった。夜間の吸引は妻が実施していたため、介護負担軽減目的で、昼間の訪問回数を増やして対応した。

【リハビリの状況】

①理学療法士は、本人の希望に沿いながら立位、座位保持訓練を行っていたが、症状が進行してくると、本人の疲労感も強くなってきたため、可動域訓練やリラクゼーションの実施となった。理学療法士とのリハビリは、本人が体をダイナミックに動かせる唯一の機会となっていた。可能な限り希望に沿いながら行えたことは、療養中の「楽しみ」であったと思う。一方で、週単位で症状の変化があるため、同じメニューが実施できないことがあった。それは本人が病状の悪化と直面することであり、不安や恐怖といった動揺があったと考えられる。そういった精神面への支援が難しく、十分ではなかった。

②車椅子移乗のためにリフトの導入や福祉機器の選定を行った。リフト導入には、体の大きさに合うものを選定するまでに時間を要した。

【延命治療について】

①訪問看護導入時より、「延命治療は希望しない」と

いう意向だったが、状態が変化した時には、本人や妻に意思を再度確認した。

②訪問開始4か月目で、呼吸苦の緩和目的で、麻薬の持続点滴が開始となった。その数日後、ご家族に見守られながら自宅で永眠された。後日ご家族から、「病院ではなく、自宅で過ごせて良かった。訪問看護を利用して良かった」とお言葉をいただいた。

[考察]

今回の症例は、症状の変化が早く、支援が追いついていない場面があった。また、本人、家族も心身に辛い時間が多くあったと思う。看護師として、それを少しでも緩和したいと思う気持ちで、その時にできる最善を模索して対応した。職員間でも繰り返し話し合い、本人の希望する過ごし方を尊重するために何ができるかを考えた。正解のない中で、その人らしい生き方とは何なのかを考えた、大変貴重な機会となった。また、多くの職種で連携し、それぞれが役割を果たすことで、医療依存度が高くなっても在宅で過ごすことができることを実感した。当ステーションでは状況に応じて、複数名での看護師の対応や、夜間土日でも対応する、24時間の対応体制をとり支援している。今回は障害福祉サービスの利用は間に合わず、医療依存度が高い介護者の負担をどう減らしていくかが、課題として残った。病氣と向き合う本人の姿や家族との姿は一生忘れられないものとなった。

[まとめ]

2017年の厚生労働省の調査では、人生の最期は自宅で過ごしたいと希望する人が、7割を超えている。今回の症例でも本人が当初から希望しており、家族もその希望を尊重し、在宅医療の体制が整えられたことで、最期まで自宅で過ごすことができた。一方で介護する家族の肉体的、精神的な負担や体制の問題で、自宅で最期を過ごすことを選べない人もいる。今後も医療と介護で連携して、他職種で本人、家族の在宅療養を支援していく必要がある。私達も本人、家族の気持ちに寄り添い、一番近くにいる支

援者として、希望につなげたい。

付録 戸田市介護老人保健施設

付録

戸田市介護老人保健施設（指定管理）

1. 建設の経過

平成元年 3月末	戸田市医療福祉環境調査報告書検討委員会より「老人保健施設建設」の答申あり
〃 6月より	戸田市土地開発公社へ老人保健施設用地買収を依頼
平成 3年2～3月	地質調査(ボーリング)実施
平成 4年10月	戸田市土地開発公社により老人保健施設用地買収を完了
〃 10月 9日	新築設計依頼
平成 5年 3月30日	建築確認申請
〃 3月31日	新築設計完了
〃 6月25日	建築確認許可
〃 9月10日	起工
平成 6年12月 1日	竣工
平成 7年 4月20日	開設（入所者定員60人）
平成26年 8月18日	増築棟着工
平成27年 9月18日	増築棟竣工
平成27年10月 1日	改修工事着工
平成28年 3月15日	改修工事竣工
平成28年 7月 1日	増床（入所者定員80人）
平成28年10月 1日	増床（入所者定員100人）
平成30年 4月 1日	指定管理者制度導入

2. 建物の概要

構造	鉄筋コンクリート造4階建
建築面積	2,157.46㎡
延床面積	6,592.74㎡
敷地面積	2,572.16㎡

3. 指定管理者

埼玉県秩父郡横瀬町大字横瀬5850番地
医療法人 健秀会 理事長 荒船 丈一

4. 指定期間

平成30年4月1日から令和5年3月31日までの5年間

5. 事業内容

(1) サービスの内容

介護老人保健施設では、要介護状態あるいは要支援状態と認定された者の家庭復帰を目標に、医学的管理における看護や機能回復訓練などの医療ケアを行うとともに、食事、入浴などの日常生活上のサービスを提供します。又、介護方法の相談や指導を行い、家族介護の支援も行います。

ア. 入所サービス

長期入所：おおよそ3カ月で家庭復帰が出来るよう、医師や理学療法士・作業療法士などによる日常生活動作に必要な機能訓練を行い、看護師・介護職員などによる食事、入浴などの日常生活上の支援を行います。

短期入所及び介護予防短期入所

：介護する家族が病気や冠婚葬祭、旅行などで一時的に介護が困難になった際に、短期間の入所サービスを行い日常生活の支援を行います。

イ. 通所サービス

通所リハビリテーション及び介護予防通所リハビリテーション

：通所による機能の回復訓練や、食事、入浴介助などのサービスを行います。

(2) 定員

入所 100床 (短期入所及び介護予防短期入所を含む)

通所リハビリ 30人 (介護予防対象者を含む)

(3) 利用対象者

ア. 長期入所サービスは、介護保険の第一号被保険者及び第二号被保険者で要介護状態と認定された者

イ. 介護予防を含む短期入所・通所サービスは、上記の者と要支援状態と認定された者

(4) ケアプラン

個々の利用者ごとに問題点や課題を把握し、ADLの向上を目標とし個々のケアプランをたて、週間予定表に基づき実行します。また入(通)所者が快適に療養生活を過ごせるよう年間レクリエーション・作業計画に基づき季節に合わせた行事やレクリエーションを行います。

(5) 利用料

区分	入所者		通所者	
日用品費	200円		152円	
教養娯楽費	100円		100円	
おむつ代			実費	
食費	第1段階	300円	550円(昼代+おやつ)	
	第2段階	390円		
	第3段階①	650円		
	第3段階②	1,360円		
	第4段階	1,650円		
居住費 (滞在費)		従来型個室	多床室	特別室料(利用時のみ)
	第1段階	490円	0円	個室
	第2段階	490円	370円	市内居住者
	第3段階①/②	1,310円	370円	市外居住者
	第4段階	1,640円	450円	2床室
				市内居住者
				市外居住者

令和4年度施設状況報告

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
入所	入所者数	16	12	13	11	12	12	7	22	11	12	8	11	147
	退所者数	15	4	11	19	9	15	15	14	11	10	13	12	148
	月末入所者数	97	96	97	89	95	92	85	94	94	93	90	90	1,112
短期宿泊	利用者実日数	73	66	60	60	45	31	13	22	20	34	17	14	455
	利用者延人数	73	66	60	60	45	31	13	22	20	34	17	14	455

※利用者延人数は宿泊1人1日を1人として計算。

※戸田市立介護老人保健施設（入所）定員100名

※デイサービス

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
デイサービス	新規登録者数	0	1	1	0	0	2	0	3	1	0	1	3	12
	登録抹消者数	2	2	2	2	2	0	1	2	1	1	1	1	17
	利用者実日数	26	26	26	26	27	26	12	23	27	24	24	27	294
	利用者延人数	403	413	420	382	374	388	167	341	368	311	319	372	4,258
訪問リハビリ	新規登録者数	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1
	登録抹消者数	0	0	0	0	1	1	0	0	0	1	0	0	3
	利用者実日数	15	11	8	8	5	6	2	6	9	6	5	7	88
	利用者延人数	15	11	8	8	5	6	2	6	9	6	5	7	88

戸田市立介護老人保健施設	市内住所者	55人
	市外住所者	42人

(1) 入所・短期入所サービス

ア. 入所者の年齢別階層

年齢(歳)		～65	65～69	70～74	75～79	80～84	85～89	90～94	95～	計
性別	男性	2	3	1	6	10	10	5	1	38
	女性	2	3	1	9	10	19	9	6	59
合計		4	6	2	15	20	29	14	7	97

イ. 入・退所の利用状況

区分		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
長期入所	①入所者数	16	12	13	11	12	12	7	22	11	12	8	11	147
	退所者数	15	4	11	19	9	15	15	14	11	10	13	12	148
	延入所者数	2,902	3,178	2,933	2,899	2,935	2,950	2,790	2,704	2,879	2,889	2,642	2,852	34,553
	平均入所者数	96.7	102.5	97.8	93.5	94.7	98.3	90.0	90.1	92.9	96.3	91.1	92.0	94.7
短期入所	②要介護者数	7	6	9	9	6	10	3	5	7	4	4	6	76
	③要支援者数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	退所者数	8	16	10	10	6	7	5	5	6	5	4	5	87
	延入所者数	73	66	60	60	45	31	13	22	20	34	17	14	455
	平均入所者数	2.4	2.1	2.0	1.9	1.5	1.0	0.4	0.7	0.6	1.1	0.6	0.5	15.0
合計	入所者 (①+②+③)	23	18	22	20	18	22	10	27	18	16	12	17	223
	延入所者	2,975	3,244	2,993	2,959	2,980	2,981	2,803	2,726	2,899	2,923	2,659	2,866	35,008
	稼働率(%)	99.2	108.1	99.8	98.6	99.3	99.4	93.4	90.9	96.6	97.4	88.6	95.5	97.2

ウ. 入退所者の入所前及び退所先別人数

入所前所在	入所区分	入所数	退所数	退所先			
				家庭	医療機関	福祉・老人保健施設	死亡
家庭	長期	28	17	13	1	2	1
	短期	67	69	67	0	2	0
医療機関	長期	110	119	28	36	33	22
	短期	8	17	7	0	10	0
社会福祉施設 老人保健施設	長期	9	12	1	6	3	2
	短期	8	1	0	0	1	0
合計	長期	147	148	42	43	38	25
	短期	83	87	74	0	13	0
	合計	230	235	116	43	51	25

エ. 退所者の在所期間

		15日未満	15日～ 1ヵ月未満	1ヵ月～ 3ヵ月未満	3ヵ月～ 6ヵ月未満	6ヵ月～ 1年未満	1年以上	計
性別	男性	6	3	8	11	3	7	38
	女性		2	10	16	9	20	57
合計		6	5	18	27	12	27	95

オ. 退所者の平均在所日

区分	平均在所日数
長期入所者	180 日
短期入所者	6 日

カ. 入所者の市内外別の利用状況

市内外別	人数(人)	割合(%)
市内居住者	55	56.7
市外居住者	42	43.3
合計	97	

キ. 入所者の要介護度

介護度	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計
男性	0	0	3	5	13	11	6	38
女性	0	0	4	10	13	21	11	59
合計	0	0	7	15	26	32	17	97
割合	0.0	0.0	7.2	15.5	26.8	33.0	17.5	100

ク. リハビリテーション実施人数(入所者)

入所	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
個別訓練 (加算対象)	765	1,004	1,028	759	782	692	340	657	835	836	838	806	9,342
個別訓練 (その他)	808	874	809	827	934	900	353	797	829	877	758	889	9,655
個別訓練 (ショート)	33	289	23	33	30	29	13	20	19	13	16	21	539
運動療法 (マット体操)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	1,606	2,167	1,860	1,619	1,746	1,621	706	1,474	1,683	1,726	1,612	1,716	19,536

ケ. 施設行事 2022（令和4）年度

時 期	行事タイトル	
令和4年4月1～2日	お花見	ろうけん敷地内の桜を見て楽しむ
5月15日	こいのぼりカフェ	端午の節句、季節感を味わう
6月19日	あじさい会（お茶会）	アイスクリーム、コーヒーを楽しむ
7月7日	七夕会	七夕にちなんだ食事、おやつを楽しむ
8月21日	納涼会	スイカ割りとおやつにスイカを味わう
9月18日	敬老会	長寿のお祝い
10月16日	秋の企画を味わう（お茶会）	コロナ感染対策にて中止、おやつのみ提供
11月20日	秋のお茶会	おはぎを楽しむ
12月11日	クリスマス会	クリスマスメニュー、ケーキを楽しむ。プレゼントを用意
令和5年1月3日	新年会	初詣（手作りの鳥居、賽銭箱）、おやつに梅昆布茶を楽しむ
2月26日	節分豆まき	職員扮する鬼に豆を当てる。お汁粉を楽しむ
3月5日	ひな祭り	トッピングした豪華なおやつを楽しむ。ひな祭りにちなんだ歌を歌う
		※毎月、誕生日会を実施（プレゼント誕生日カード等）

コ. ボランティア等受入状況（令和2年3月から中止しております）

団体名	内 容
書道教室（施設職員）	毎週金曜日、先生の書をお手本に会話を交えて楽しんでいます。作品は施設内に展示
絵手紙ボランティア（ひまわりの会）	月2回木曜日、花や果物などを題材に絵手紙を作成し、施設内に展示
切り絵	鋏を遣い草木などを切り絵で表し、台紙に張り施設内で展示
歌声クラブ	ピアノ演奏に合わせ、合唱を楽しむ

(2) 通所リハビリテーションサービス

ア. 通所登録者数及び年齢別階層

年齢（歳）		～65	65～69	70～74	75～79	80～84	85～89	90～94	95～	計	平均年齢
性別	男性	4	2	5	8	6	4	2	0	31	75
	女性	1	0	1	3	7	5	3	1	21	82.3
合計		5	2	6	11	13	9	5	1	52	78.74

イ. 通所者の利用状況

区分		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
実施日数		26	26	26	26	27	26	12	23	27	24	24	27	294
通所者数 (延べ数)	要介護	353	362	375	349	344	343	152	316	335	286	293	350	3,858
	要支援	50	51	45	33	30	30	15	25	33	25	26	22	385
	計	403	413	420	382	374	373	167	341	368	0	319	372	4,243
1日平均通所者数		15.5	16.0	16.2	14.7	13.9	14.9	13.9	14.8	13.6	13.0	13.3	13.8	14.5
送迎	バス・ワゴン	16	21	14	13	14	13	8	17	18	17	16	18	185
	家族	387	392	406	369	360	360	159	324	350	294	303	354	4,058
入浴	特別浴室	207	233	241	230	211	202	94	192	62	125	43	127	1,967

ウ. 通所者の要介護度数

介護度	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計
男性	0	2	8	11	2	7	1	31
女性	0	2	10	4	3	2	0	21
合計	0	4	18	15	5	9	1	52
割合	0.0	7.7	34.6	28.8	9.6	17.3	1.9	100.0

エ. リハビリテーション実施人数（通所者用）

入所	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
個別訓練(加算対象)	0	0	0	0	0	0	0	7	14	12	5	0	38
個別訓練(その他)	309	324	337	311	322	329	146	305	328	291	310	270	3,582
個別訓練(ショート)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	309	324	337	311	322	329	146	312	342	303	315	270	3,620